

官報 號外

大正九年七月二十日 火曜日

印刷局

第四十三回 衆議院議事速記録第十四號

大正九年七月十九日(月曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第十三號 大正九年七月十九日

午後一時開議

- 第一 南滿洲鐵道株式會社ノ株式引受ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 賠償金特別會計法案(政府提出) 第一讀會
- 第四 治安警察法中改正法律案(押川方義君外三名提出) 第一讀會
- 第五 國都鐵道建設ニ關スル建議案(日野辰次君外三名提出)
- 第六 延松鐵道建設ニ關スル建議案(上塚司君外三名提出)
- 第七 官營大社出雲大社境内擴張費國庫補助ニ關スル建議案(原夫次郎君提出)
- 第八 南日隅鐵道建設ニ關スル建議案(津崎尙武君外三名提出)
- 第九 宇都宮監獄位置移轉ニ關スル建議案(植竹龍三郎君外四名提出)
- 第十 療兵優遇ニ關スル建議案(津野田是重君外一名提出)
- 第十一 勢和鐵道速成ニ關スル建議案(津野田是重君外十名提出)
- 第十二 四國循環鐵道完成ニ關スル建議案(原田佐之治君外十九名提出)
- 第十三 阿豫鐵道池田、川之江線敷設ニ關スル建議案(原田佐之治君外七名提出)
- 第十四 遠信鐵道速成ニ關スル建議案(北井波治目君提出)
- 第十五 上總湊驛ヨリ鴨川町ニ至ル鐵道建設ニ關スル建議案(竹澤太一君外三名提出)
- 第十六 因美鐵道支線敷設ニ關スル建議案(清瀬規矩雄君外二名提出)
- 第十七 吉野縱貫鐵道速成ニ關スル建議案(岩本平藏君提出)
- 第十八 植民省設置ニ關スル建議案(押川方義君提出)

- 第十九 石油政策樹立並國內油田ノ開發ニ關スル建議案(坂本素魯君提出)
- 第二十 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案(八田宗吉君外二名提出)
- 第二十一 燃料調査會設立ニ關スル建議案(高野毅君提出)
- 第二十二 五條新宮間鐵道建設ニ關スル建議案(玉置良直君外五名提出)
- 第二十三 烏根縣斐伊川治水工事速成ニ關スル建議案(原夫次郎君外五名提出)
- 第二十四 東京市特別市制ニ關スル建議案(鳩山一郎君外十五名提出)
- 第二十五 信越東線鐵道速成ニ關スル建議案(丸山巖峨一郎君外一名提出)
- 第二十六 議院建築ニ關スル建議案(星島二郎君提出)
- 第二十七 (特別報告第一號)徵兵事務條例中外國ニ在ル爲徵集延期ノ請願 (委員長報告)
- 第二十八 (特別報告第二號)琴似、發寒屯田兵扶助ノ請願 (委員長報告)
- 第二十九 (特別報告第四號)戰鬪若ハ公務起因傷病軍人ヲ官立病院ニ於テ國費ヲ以テ診療並入院セシムルノ請願 (委員長報告)
- 第三十 (特別報告第六號)滿洲競馬法制定ノ請願 (委員長報告)
- 第三十一 (特別報告第七號)佐呂間村ニ登記所出張所新設ノ請願 (委員長報告)
- 第三十二 (特別報告第八號)與那村市街地ニ區裁判所出張所急設ノ請願 (委員長報告)
- 第三十三 (特別報告第九號)小布施村ニ登記所新設ノ請願 (委員長報告)
- 第三十四 (特別報告第十號)安下庄町眞宮ニ登記所新設ノ請願 (委員長報告)
- 第三十五 (特別報告第十三號)公立學校職員、市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法ニ關スル在職年數計算方改正ノ請願 (委員長報告)

- 第三十六 (特別報告第十四號)私立中等學校ノ國庫補助金下附ノ請願(委員長報告)
- 第三十七 (特別報告第十五號)北海道利尻郡鴛泊漁港修築ノ請願 (委員長報告)
- 第三十八 (特別報告第十七號)山陰縱貫鐵道折居停車場設置ノ請願 (委員長報告)
- 第三十九 (特別報告第十八號)戰鬪若ハ公務起因傷病軍人無賃乘車ノ請願 (委員長報告)
- 副議長(粕谷義三君) 本日ハ議長差支ガアリマスノヲ、私ガ代理ヲ致シマス、諸般ノ報告ヲ致サセマス (原田書記官朗讀)
- 一 去十七日政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
 - (第一號)南滿洲鐵道株式會社ノ株式引受ニ關スル法律案
 - (第二號)大正九年度歲入歳出總豫算追加案
 - (第三號)臨時軍事費豫算追加案
 - (第四號)大正九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
 - (第五號)大正九年度特別會計歳入歳出豫算追加案
 - (第六號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
 - (第七號)去十六日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
- 一 去十六日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
 - 提出者 松下 禎二君
 - 傳染病豫防法中改正法律案
 - 提出者 松下 禎二君
 - 境、飯能間輕便鐵道速成ニ關スル建議案
 - 提出者 山崎 猛君
 - 秦 豐助君
 - 高田 貞平君
 - 市村 良造君
 - 高柳淳之助君
 - 四國縱貫鐵道琴平、池田、山田間線工事速成ニ關スル建議案
 - 提出者 原田佐之治君
 - 淺石 惠八君
 - 水野吉太郎君
 - 海原 清平君
 - 岡 順次君
 - 大石 大君

大正九年七月二十日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第十四號 議長ノ報告

坂本素魯哉君 國澤新兵衛君
竹内明太郎君 田中 定吉君
三善 清之君 林 毅陸君
蓮井 藤吉君 大林森次郎君
三土 忠造君 成田 榮信君
河上 哲太君 深見寅之助君
高山 長幸君 矢野 丑乙君
渡邊 修君

一 去十六日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
麥酒稅法中改正法律案
栗林 五朔君 大久保虎吉君 山本清三郎君
吉木 陽君 野口忠太郎君 伊藤 廣幾君
平出喜三郎君 一柳仲次郎君 土井 權大君
仙臺青森間鐵道線工事速成ニ關スル建議案外一件
澤 來太郎君 八田 宗吉君 田村順之助君
高橋長七郎君 佐藤 良平君 原田藤次郎君
高橋 辰二君 志賀和多利君 菊池長右衛門君
水野吉太郎君 向井 倭雄君 阿由葉勝作君
菊池 良一君 佐藤 啓君 鈴木周三郎君
長場龍太郎君 石川長右衛門君 井内 歡二君
一 去十七日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
麥酒稅法中改正法律案委員
委員長 栗林 五朔君 理事 土井 權大君
仙臺青森間鐵道複線工事速成ニ關スル建議案外一件委員
委員長 澤 來太郎君 理事 八田 宗吉君
志賀 和多利君
向井 倭雄君

松山、高知間縱貫鐵道速成ニ關スル建議案
提出者 高山 長幸君 成田 榮信君
河上 哲太君 深見寅之助君
矢野 丑乙君 渡邊 修君
國澤新兵衛君 水野吉太郎君
大石 大君 坂本素魯哉君
竹内明太郎君

一 去十七日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
宮河内谷川改修ニ關スル建議案
提出者 原田佐之治君 岡 順次君
海原 清平君 淺石 惠八君
京若鐵道敷設ニ關スル建議案
提出者 竹上藤次郎君 長田 桃藏君
風間八左衛門君 大島實太郎君
河崎 清君

一 今十九日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
軌道條例中改正法律案
提出者 高見 之通君 廣岡宇一郎君
中島 鶴六君

一 今十九日現受恩給者ノ恩給等ノ増額ニ關スル法律
案外一件委員佐々木志賀二君吉原祐太郎君山口
義一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ深見寅之助君鈴木
義隆君中島鶴六君ヲ議長ニ於テ選定セリ

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載
ス〕
一 去十六日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
明治三十八年法律第十七號中改正法律案委員
委員長 龍野周一郎君 理事 奥村 安太郎君
戰時海上再保險法廢止法律案委員
委員長 匹田 銳吉君 理事 砂田 重政君
獸疫豫防法ニ依リ下付スル手當金ニ關スル法律案
委員長 大林森次郎君 理事 池田猪三次君
成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案委員
委員長 上埜安太郎君 理事 菅野傳右衛門君
菅野 宇八君
鴨澤

一 去十六日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
○副議長(粕谷義三君) 許可致シマス
○指田義雄君 是ヨリ關稅定率法中改正法律案外五
件ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマス
○副議長(粕谷義三君) 宜シウゴザイマス——日程第一
南滿洲鐵道株式會社ノ株式引受ニ關スル法律案政府提
出第一讀會ヲ開キマス——政府委員

委員長 大林森次郎君 理事 池田猪三次君
成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案委員
委員長 上埜安太郎君 理事 菅野傳右衛門君
菅野 宇八君
鴨澤

○副議長(粕谷義三君) 許可致シマス
○龍野周一郎君 是ヨリ明治三十八年法律第十七號中
改正法律案ノ委員會ヲ開キタイトゴザイマス

一 去十六日理事補選ノ結果左ノ如シ
大正四年法律第十六號中改正法律案
理事 山邑太三郎君(理事吉村鉄之助君補
關)

○副議長(粕谷義三君) 許可致シマス
○龍野周一郎君 是ヨリ明治三十八年法律第十七號中
改正法律案ノ委員會ヲ開キタイトゴザイマス

第一 南滿洲鐵道株式會社ノ株式引受ニ
關スル法律案(政府提出) 第一讀會

南滿洲鐵道株式會社ノ株式引受ニ關スル法律案
政府ハ現ニ所有スル南滿洲鐵道株式會社ノ株式ノ外
更ニ其ノ株式額面一億二千萬圓ヲ引受クルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ株式ヲ引受ケタルキハ政府ハ其ノ
引受ノ日ニ於テ南滿洲鐵道株式會社ノ發行ニ係ル英
貨社債額面一千二百萬磅ノ元利支拂義務ヲ承繼ス此
ノ場合ニ於テハ政府ノ引受ケタル株式ニ付株金一億一
千七百十五萬六千圓ノ拂込アリタルモノト看做ス
第一項ノ規定ニ依リ株式引受ハ株式申込證ヲ以テスル
コトヲ要セズ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員古賀康造君登壇〕

○政府委員(古賀康造君) 本案ハ南滿洲鐵道株式會
社ノ増資ニ就キマシテ、政府ノ引受株ニ關スル法律案デ
ザイマス、會社ニ於キマシテハ、増資ノ必要ト本年四月ニ從
來ノ資本金二億圓ニ加フルニ、尙ホ二億四千萬圓ノ増資
ヲ決定シテアリマス、而シテ當時政府ノ持株トシマシテ
ハ、之ヲ保留シテ置キマシタ、今度其保留シテ持株一億二
千萬圓ノ負擔ヲ政府ニ於テ負擔シヤウト云フ法律案デ
ザイマス、而シテ此一億二千萬圓ノ政府ノ持株ハ現金ヲ以
テ之ヲ支拂フニ非ズシテ、從來滿鐵會社ニ於テ英吉利ヨリ
借受ケタ英貨一千二百萬磅ノ義務ヲ、其儘ニ政府ニ於テ
之ヲ引受ケルト云フ次第アリマス、何卒御審議ノ上御協
贊ヲ願ヒマス
○副議長(粕谷義三君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付
託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○副議長(粕谷義三君) 岩崎勳君
○岩崎勳君 委員ノ數ハ特二十八名トシ、議長ニ於テ指名
セラレシコトヲ望ミマス
〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ御發議ニ御異議ア
リマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 其通り決シマス—日程第三、賠償金特別會計法案政府提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長牧山耕藏君

第三 賠償金特別會計法案(政府提出)

第一讀會(續) 委員長報告

報告書
一賠償金特別會計法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正九年七月十七日
賠償金特別會計法案委員長
牧山 耕藏

衆議院議長奥繁三郎殿

〔牧山耕藏君登壇、拍手起ル〕

○牧山耕藏君 賠償金特別會計法案ノ委員會ノ經過、並ニ結果ヲ御報告致シマス、今回ノ世界大戦ニ關シ、獨逸國等トノ平和條約ヲ締結セラレテアリマシテ、此條約中賠償條項ニ依テ帝國政府ガ受取ルベキ所ノ賠償金ハ、目下賠償委員會ニ於テ商議中デアリマス、隨テ此賠償金額等ハ未ダ決定ヲシナイノデアリマスガ、賠償條項ハ既ニ實施セラレテ居リマシテ、現ニ染料ノ如キハ、一部分ノ受領ノ手續ヲ了シテ居ルノデアリマス、此後受領致シマス所ノ債金及物件ヲ處理スルコトニ就キマシテ、之ヲ一般會計ニ繰入レマスルコトハ甚ダ不便デアリ、殊ニ之ガ處理ハ極メテ複雑デアリマシテ、今後三十年若クハ四十年モ掛ルヤモ知レナイノデアリマスカラ、之ヲ特別會計ノ經理ニスル、即チ日清戰爭ノ後ニ於テモ、賠償金ハ特別經理ノ方法ヲ執リタノデアリマスカラ、此意味ニ於テ此法案ガ提出セラレタノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、此戰爭ニ依テ帝國ガ被ル所ノ損害ノ總額、並ニ「スパー」ニ於ケル賠償委員會ノ經過、及帝國政府ガ要求ヲ致シテ居リマスル、賠償金額等ニ就テ質問ガアリマシタケレドモ、目下商議進行中デアテ、唯今ハ之ヲ明言スルノ時機ニ非ズト、政府ハ明言ヲ避ケタノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、之ヲ特別會計トシテ處理スルコトヲ適當ナリト認メマシテ、全會一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス、此段報告致シマス(拍手起ル)

○副議長(粕谷義三君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシレバ、第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○岩崎勳君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、本案ハ直チニ第二讀會ヲ開キマス

賠償金特別會計法案 第二讀會(確定讀)

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 別ニ御異議ナシレバ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ—日程第四、治安警察法中改正法律案、押川方義君外三君提出—提出者ノ説明ヲ求メマス、田淵豐吉君

第四 治安警察法中改正法律案(押川方)

義君外二名提出) 第一讀會

治安警察法中改正法律案
第五條第一項第五號ヲ削ル
同條第二項中「女子及」ヲ削ル
〔田淵豐吉君登壇、拍手起ル〕

○田淵豐吉君 治安警察法ノ第五條ノ「女子」ト云フ點ニ就キマシテ、ソレノ改廢ヲシテ戴キタイガ爲メニ、茲ニ此案ヲ出シテアリマス、暫ク諸君ノ御清聴ヲ願フテ、此案ノ理由ヲ説明致シタイト思フノデアリマス、此第二項ノ方ノ政治ノ集會ノ自由ト云フコトハ、明治四十一年ノ衆議院ダケヲ通ツサウデゴザイマスガ、貴族院ヲ通ラナカテ、其儘ニテ居ルラシ、ソレカラ今日ニ至ラタノゴザイマスルガ、新シキ婦人或ハ世ニ目覺メタ所ノ婦人達ガ、最も此點ニ就キマシテ注意ヲ拂ハレテ、此案ヲ提出シテ呉レト云フコトニナリマシタ、サウシテ中立ノ者ガ奇テ茲ニ提案者トナリ、私ガ説明者トナラノデアリマス、憲法ニハ集會結社ノ自由ヲ許スト云フコトニテ居ル、併シソレハ法律ノ範圍内ニ於テ之ヲヤルト云フコトニテ居ル、而モ其立憲國デアルト云フコトガ、ドウモ多ク例外ヲ設ケテ居リマスルガ爲メニ、非常ニ私ハ惡クナラシテ居ルト思ヒマス、過日清瀨サンモ此問題ニ就テ論セラレタノデアリマスカラ、殆ドソレト同種デアリマスケレドモ、私ハ此女ト云フコトヲ「エンフアサイズ」シ、其女ト云フコトニ就テ強ク論ジタイト思フノデアリマス(「謹聽」ト呼フ者アリ)諸君モ御承知ノ通り、「ポリツアイシユタート」—警察國デアルト云フヤウナ概ガアル、帝政時代ノ露西亞、及獨逸ガ警察國デアアル、其通り今日日本モ矢張警察國デアルト云フヤウナ感ヲ深クスルモノデアリマシテ、詰マリ此治安警察法ト云フモノハ、色ニナ所ノ新シキ運動ノ、芽ヲ摘ムヤウナモノナ

イカト私ハ思フノデアリマス、故ニドウカスウ云フヤウナモノハ、成ルベク除去テ戴キタイ、ソレデナケレバ此立憲國ノ面目ヲ奈何セント、私ハ言ヒタイト思ヒマス、(「高聲ニヤレ」ト呼フ者アリ)ドウモ此日本ガ色ニ斯ウ云フヤウナ束縛ヲ設ケテ、—地球ガ引力ガアリ、色ニノ暴風ガアリ、色ニノ風邪ガ流行ル、其外手糊足柳ヲ嵌メテ、日本帝國臣民ノ活動ヲ阻礙シテ居ルト云フコトハ、成ルベク早ク除カスト、他ノ國ト對抗シテ、原サンノ所謂五大國ノ一トナルコトガ出来ナイ、私ハ確ク信ズルノデアリマス、過日モ色ニ言論ノ自由ト云フコトニ就テ、議論モゴザイマシタケレドモ、詰マリ此言論ノ自由ト云フヤウナモノガ尊重セラレナイ爲メニ、最も神聖デアリ、最も言論ノ自由ヲ許サレテ居ル此議會ニ於キマシテモ、言論ノ自由ガ無イト云フ状態デゴザイマスカラシテ、ドウモ日本ハ警察國デアアル、此議會ト云フ點ニ於テモ、向ホ之ニ目覺メヌデハナイカト云フノデ、私ハ憤慨シテ居ルノデアリマス、憲法ニ保障サレタル言論、集會、結社ノ自由ト云フコトヲ私ハ政綱ニ掲ゲマシタカラ、此問題ヲ私ハ引受ケテ、此壇上ニ立テ諸君ニ此問題ヲ十分ニ理解シテ戴イテ、之ヲ可決シテ、サウシテ日本ノ此治安警察法、殊ニ第五條ノ女子ト云フ點ヲ削除シテ戴キタイト云フコトヲ、私ハ痛切ニ冀フモノデアリマス、諸君、世界ノ大勢ハ戰後ニ於テ急轉直下ノ勢ヲ成シタ、一ハ社會主義デアリマス、詰マリ第三階級ノ勃興デアリマス、第二ニ於テハ「セミニズム」即チ女權擴張論デアアル、女子中心論デアアル、此「セミニズム」キ「セ」此二ツノ極端ガ茲ニ現レテ來タノデアリマス、而シテ其結果ハ色色ノ潮流ヲ捲イテ、滔々トシテ世界ノ色ニナ國ニ禍ヲシテ居ル、此波ガ遂ニ日本ニマデ來テ居ル、議會ノ問題デモ、諸君ヤ吾々ガ紳士的態度デアルトカナイトカ云フバカリデナクシテ、世界ノ大ナル渦卷ガ、遂ニ此日本ノ議會ニマデ押込シテ來タ結果デアハナカラウカト思フ、此點ニ於キマシテ、吾々ハ大ニ考察シナケレバナラヌ、如何ナル點マデ此「セミニズム」ノ中ニ真理ガアルカ、又社會主義ガ如何ナル點マデ真理ガアルカト云フコトヲ研究シテ、其善ヲ取り惡ヲ捨アルト云フコトガ、最も必要ナ事デアルト私ハ確ク信ズル—人デアリマス、(拍手起ル)諸君、今日ハ日本ハ普通選舉ノ論ガ盛デゴザイマスケレドモ、世界各國ニ於キマシテハ、社會主義ノ問題ガ滔々トシテ漲リテ居ル、如何ニ之ヲ處理スルカト云フコトニ忙殺サレテ居ルト云フコトデゴザイマス、又婦人ノ參政權ハドウカト云フコト、或ハ英國ニ於テ、或ハ露國ニ於テ、或ハ芬蘭ニ於テ、或ハ諾威ニ於テ、或ハ瑞典ニ於テ、或ハ和蘭ト云フヤウナ國々七箇國ノ國ニハ既ニ女權ガ擴張サレテ居ル、或ハ亞米利加ノ州、或ハ加奈陀、比律賓、或ハ澳洲ト云フヤウナ國ニハモウ施カレテ居ルノニ、我ガ日本帝國ハ今日尙

ホ男ノ普通選舉ヲ認メナイト云フヤナウ、大ナルヘマナ時代
 アアル、之ヲ改善シテ行カケレバナラヌ、然ルニ頑迷ナル諸
 君ノ一部ノ人ガ之ヲ通サヌト云フヤウナコトハ、世界ノ大勢
 ヲ知ラザル者デアルト私ハ思フ、(拍手起ル、)何ガ頑迷ダ
 「頑迷黙レ」ト呼フ者アリ諸君、世界ノ大勢ハ驟々トシテ
 熄マナイデアリマシテ、中古以前ニ得テ所ノ女子ノ權利
 ハー女子ノ經濟上生産上ニ於ケル所ノ權利ハ、再ビ今日
 ノ二十世紀ノ頃ニ、再ビ燃出デタト云フヤウナ次第デゴザイ
 マス、社會主義的の思想ガ、再ビ此二十世紀ニ來タ
 ト云フコトハ、大キナ意味ニ於テ歴史ハ繰返スモノデアルト
 云フコトヲ、此意味ニ於テモ現シタト云フコトガ出來ルデハ
 ナイカト思フ、諸君ヨ、是マデノ女子ハ農業ハ借措キマシテ、
 其他ニハ消費者デアラ、デアリマスケレドモ、段々生産者ニ
 ナラテ來タデアリマス、家ニ居テハ食ヘヌト云フコトニナラ
 來テ、共稼ニ外ニ出テ働タト云フコトニナラ、是ガ爲メニ女
 子ノ獨立ト云フコトガ叫バレテ、女子ノ經濟上ニ於ケル地位
 ト云フモノガ、確實ニナラテ來タデアリマス、山川菊枝ト云
 フ女子ノ方ノ書イタ本ヲ私ハ一寸見タデアリマシテ、或ハ間
 違テ居ルカ知ラヌカ、日本ノ農業ニ從事シテ居ル女子ノ勞働
 者ガ八百万人、而シテ女工ガ六十六万人以上アル、ソレカ
 ラ教員ガ五万人アル、又工婦ガ七万人程アル、或ハ鐵道ト
 カ、郵便、電話、電信ニ二万人程ノ人ガ居ルト云フヤウナ、
 非常ナル所ノ大數ヲ數ヘテ居ル、是等ノ人ミガ、日本ノ産
 業ノ發達ノ爲メニ、産業ノ改善ノ爲メニ努力シテ居ルト云
 フ事實ハ、吾ハ見通スコトハ出來ナイデアリマス、斯ノ如
 ク大ナル女子ノ群ガ、産業ノ中ニ入ラテ來タデアリマスガ
 ラ、此産業ノ中ニ於テ、彼等ノ得タル所ノ獨立ノ聲其物ガ
 同時ニ世界ニ漲リ、自由、平等、博愛ノ精神ト相合シテ、サ
 ウシテ經濟上ノ獨立ト精神上ノ獨立ト云フ此二ツノモノト、
 唯ダ良妻賢母ニ甘ジナイ、尙ホ人間トシテ行キタイ所マデ
 行ク、自由ヲ味ヒ、平等ヲ味ヒ、而シテ溢レル所ノ愛ヲ世界ニ
 於テ宣傳シタイト云フ理由ハ、大ニアルト思フ、(拍手、笑聲起
 ル)此意味ニ於キマシテ、吾ハ唯ダ一笑ニ附スルコトハ始
 來ナイト云フシテモ、丁度彼ノ英國ニ於キマシテ、戰爭ガ出
 テ來テド云フシテモ、敵ハヌト云フ、コロロ、デジョ、アタリ
 ノ人ガ、或ハ公債ヲ募ルトカ、或ハ食料品ヲ始末スルトカ、
 或ハ彈藥ヲ造ルト云フ、女子ノ勢力ヲ非常ニ利用シタ、或
 ハ米國ニ於テ幾十幾百幾千ノ女子ノ團體ガ、自動車ニ
 乘テ、プロパガンダヲヤリ、而シテ非常ナ大ナル活動ノ結
 果、米國ガ未ダ會テ有ラザル大兵ヲ太平洋ノ彼岸ニ送ラ
 ト云フコトハ、女子ノ賜デハナイカ、獨逸ニ於テモ、獨逸ガ
 大軍ヲ四年モ五年モ支ヘタト云フコトハ、如何ニ獨逸ノ
 女子ガ、獨逸ノ爲メニ働イタカト云フコトハ、歴然トシテ居
 ル、ソレ故ニ今日獨逸ノ帝政ガ引續返ラテ、三十六名ノ女

子ノ議員ガ國會ニ出テ居ルト云フコトデアアル、サウ云フ状態
 ニナラ居ル、之ヲ以テモ、女子ノ勢力ヲ無視スルコトハ出來ナ
 イト私ハ思フ、然ルニ諸君、日本ハドウデアリマスカ、女ト云
 フモノハ彼ノ小乗教ノ佛敎ニ於キマシテハ、女ハ女子ト云フ
 「子」ガ附イテ居ルト云フ、ノ抑付ケテ居ル、基督教ニ於テ
 モ、舊敎ニ於テハ、女ハ一種低イモノト見テ居ル、「カイザ」ノ
 皇后「カイザリン」ハ、女ト云フモノハ、家ニ留テ居ナケレバ
 ラヌト云フコトヲ度々言タカ、一元論者ノ「モリステンブン」
 ガ之ニ反對シテ、女ハ斯ノ如キ者デハナイ、女ハ驥足ヲ伸バ
 シテ宜イト云フ論ヲ以テ、對抗シタデアリマスガ、女ハ家庭
 ニバカリ閉籠テ居ラ宜イト云フ思想ト、社會ニ出テ働ク
 ト云フ思想ガ、日本ニ於テモ段々軋轢ヲ生ジテ來ルノデハ
 ナイカト思フ、ソコデ女子モ亦此政治上ノ自由、或ハ參政
 權、或ハ政治上ノ結社、或ハ政治上ノ集會ニ於テ、演説ヲ
 シタリ、聽イタリ、討論ヲシタリスルコトヲ許シテ呉レト云フ
 ノハ、世界ノ大勢デアアル、私ハ是ハ惡イ方ニ向テ居ルノデハ
 ナイ、善ノ方ニ向テ居ルノデアルト云フコトヲ、確ク斷言シ
 タイト思フデアリマス、諸君、英國ハ納稅主義ヲ以テ立テ
 居タ國デアリマシタ、所ガ女子ノ主ニハ、之ヲ與ヘナカッタ
 居テヤウナ事例ガアリマシテ、非常ニ女子ノ選舉資格ヲ有テ
 居ル者ノ議論ガ聲ヲ鳴ラシテ居ラ、デアリマス、所ガ日
 本ニ於キマシテハ、男ノ普通選舉ガ施カレマシテモ、女子ノ
 主權ヲ有テ居リ、同ジク直接國稅ヲ納メテ居ル所ノ者ニ
 ハ、少シモ此權利ガ無イト云フコトニナラテ居ル、或ハ又良人
 ガ病氣デ、女ガ代テ擔當シテ居ルト云フ人ニ、集會ノ自
 由、結社ノ自由モ許シテナイト云フコトニナラテ居ル、サウ云
 フ工合デ、直接ニ利害關係ヲ有チナガラ、女デアアルガ爲メニ
 選舉權ヲ有チナイト云フコトニナラテ居ル、又今日ハ運動員
 デアルト云フコトヲ許シテ居ラ、私モ女子ノ御蔭デ、或ハ
 一部舉テト謂ウテモ宜シイ、如何トナレバ熱烈ナル人ガ子
 ヲ負ウテ、而モ終日終夜大ニ我ガ爲ニ運動シテ呉レタト云
 フコトハ、私ノミデハアリマセヌ、又諸君ノ中ニモ多々アルト
 思フ、或人ノ爲メニモ非常ニ女子ノ人ガ働イテ呉レタ、私共ノ友
 達ノ、私ノ爲メニモ非常ニ女子ノ運動員ガアツテ其ノ如キ
 ハ、政談演説ニ女ハ入ルコトガ出來ナイノデ、法被ヲ
 著テ、男ノ風ヲシテ演説ヲ聽イタト云フ話デアアル、ソ
 レマデヤテ居ルト云フヤウナ事實ガアルラシイ、ソレ
 カラ衆議院ニ於テハ、女子ノ方モ大分來テ居ラル、ガ、女子
 方ニ澤山聽クコトヲ許シテ居ル、而シテ最モ必要ナ國務
 ヲ聽イテ居ルコトガ出來ルガ、併ナカレバ此範圍ハ極ク狭小デ
 一々聽ク所ノ場ガ無イト云フ状態ニナラテ居ル、是デハ私ハ
 迪モイクマイト思フ、諸君、女ハソレデアリマスカラ、ドウシテ
 モ其權利ヲ有チタイト云フノハ私ハ明ナル、事デアアル、ソレハ

決シテ惡イ事デアナイト思フ、諸君ヨ、彼ノ西伯利ニ持テ行
 テ出兵致シマシタ、西伯利(持テ)行テ出兵致シタト云フ
 コトハ、其内閣ノ責任デアアルカモ知レナイ、内閣ノ失政デア
 ルカモ知レナイ、尼港ノ虐殺ハドララガ惡イカ知リマセヌガ、
 諸君、私ハ日本ノ陸海軍ガ、惡イ、政府ガ惡イト一寸思ハレ
 ル、所ガ其所ヘ持テ行テ子ヲ送テ居ル、子ガ殺サレタ、軍
 人ガ殺サレタ、其總勘定結末ヲ誰ガ著ケルカト云フト、母ト
 カ兄弟トカ妻トカ云フ者ガ、最モ眞ノ帳尻ヲ精神ノ中ニ於
 テ著ケルモノデハナイカト私ハ思フ、故ニ諸君ハ七百トカ八
 百トカ言ハレルカ知リマセヌガ、家庭ニ於テドノ位并大死デ
 ナイニシタ所ガ、斯ノ如キ慘劇ナ目ニ遇ラタト云フコトハ、如
 何ニモ殘念タト云テ、死ヌマデ忘レルコトノ出來ナイノハ、
 母ナリ妻ナリ娘デアルト私ハ思フ、詰マリ諸君ノ失政、
 諸君ノ惡イ仕事ト云フコトハ分ラヌケレドモ、結局女子返ラ
 テ居ル、或ハ風邪ガ流行シテ、衛生ガ達シナイ、澤山ナ人ガ
 死ヌト、一番死骸ヲ片付ケル者ハ女デアアル、或ハ諸君ガ物
 價ヲ騰貴セシメテ、放慢ナル政策ヲ執ラテ少シモ願、ナイノ
 デ居ルガ爲メニ、物價ガ騰貴シテ居ル、食フ米ダ無イ、物モ
 買ヘナイ、馬鈴薯ニ胡蘿蔔ヲ食シテ居ル、民力ヲ涵養スル爲
 メニ麥飯ヲ食ヘト言ハレテ居ル、ソレハ誰ガ受ケルノデアアルカ
 ト云フト、其結末ハ女ガ受ケナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ
 意味ニ於キマシテ、諸君ハ國家々々ト言ハレルガ、其引受ケ
 ル人ハ常ニ女デアアル、然ルニ女ハ何等政治モ聽クコトガ出
 來ナイ、或ハ政談演説ニ出ルコトガ出來ナイ、或ハ投票スル
 コトガ出來ナイト云フコトニナラテ居ル、例ヘバ是ハ嚴シイカ
 知ラヌケレドモ、女ノ藥劑師ガ、此所デ以テ醫藥分業ノ問
 題ガ起テモ、ソレヲ聽クニ行テ、自己ノ意見ヲ吐露シテ、表
 決ニ加ハルコトガ出來ナイ、所謂職業ノ上ニマデ大ナル壓
 迫ガアル、サウ云フコトデハ、日本帝國ハ皆ク行ケナイノデア
 ルカラ、吾ハ常ニ之ヲ憂ヘテ居ル一人デアアル、彼ノ「ウオー
 ズウオー」ガ言テ居ル、彼ハ詩ヲ作テ居ルガ、其詩ガ何處
 ノ人ノ腹、頭、心臓ヲ射タカ分ラヌ、一ツノ矢ヲ放テテ諸
 君ハ何處ニ在ルカ知ラナイ、三年四年經テラ、或ル程ノ上
 ニ矢ガ立テ居ルト云フコトヲ見タ、諸君ヨ、吾ハ内閣
 諸公ガモウ二月モ經テラ辭職サレルカモ知ラヌ、併ナカラ
 其辭職シタ後デ、其痛ミヲ受ケ、内閣ノ失政ノ痛ミヲ受ケル
 者ハ即チ國民ノ大半デアアル、三千万人ノ女デアアル、何モ知ラ
 ヌ者ガ、其失政ニ中テ、其胸ヲ傷ケテ居ル人デアナイカト思
 フ、故ニ私ハ原サンデモ、大ニ此點ニ於テ注意シナケレバイ
 ナイト、女ト云フ者今日ハ最モ尊重致シマシテ、唯ダ諸君
 ハ子ヲ取ル爲メニ之ヲ用ケルモノデハナイ、諸君ガ此女ト云フ
 者ノ人格ヲ認メルト云フコトガ、最モ必要ダト思フ、男尊女
 卑ノ思想ヲ尙ホ今日翻サズシテ、諸君ガ十分ニ眞面目ヲ缺

イテ居ルカト云フコトモ、サウ云フ點カラ來テ居ルノデハナ
 イカト思フ、諸君、私ハ女子ト云フ者ガ、果シテ家庭バカリニ
 居ラナケレバナラヌモ、デアアルカドウカト云フコトハ、吟味ハ
 長ニ致シマセヌケレドモ、私ハ女子モ矢張政治ノ能
 カヲ有テ居ル者ト思フ、或モ、私ハ女子モ矢張政治ノ能
 ヲ拵ヘルノハ、男デアル、女ハ、唯ダ使フバカリデアル、音樂ノ
 天才ハ、是マデ女ニ出テ無イノデアリマス、是ハ事實デアル、後
 來ハ私ハ分ラヌガ、是マデハサウデアル、或ハ繪畫ノ天才
 ハ女ニ無イ、或ハ建築ノ天才ハ女ニハ無イト云フヤウナ狀
 態デアル、故ニ是マデハ女ヲ壓迫シテ來タノガ、自然法ニ從
 テ、女ガサウ云フヤウナ弱點ヲ有テ居ルカ分ラヌ、併ナガラ
 私ハ或ル程度マデ、自然法ガ斯ノ如ク然ラシメルノデアアルト
 云フコトヲ虞レル一人デアリマス、併ナガラ女ハ音樂ヲ解ス
 ルコトガ出來ナイ、繪畫ヲ解スルコトガ出來ナイ、美術ヲ解ス
 ルコトガ出來ナイ、建築ヲ見ル頭ガ無イカト云フマシ、サウデハ
 ナイ、普通ノ人ノヤルヤウナ音樂ハヤルノデアリマス、故ニ是
 等ノ人ガ音樂ヲ奏デ、或ハ繪ヲ描カウト云フコトハ、是ハ常
 前ノ事デアル、而シテ諸君ハ唯ダ單ニソレバカリデナク、數學
 ノ上ニ、或ハ天文ノ上ニ、或ハ物理ノ上ニ於テ、「エキザクト、
 サイエンス」ノ科學ニ貢獻シタコトハ、尠クナイト云フコトハ
 確實デアル、女ハ綜合的デナイケレドモ、非常ニ穿鑿的デアル
 ル、唯ダ深クシテ廣キ所ニ涉ル性質ヲ缺イテ居ルヤウニ思
 フ、併ナガラ教育サレルニ從テ、其廣イ所ノモノノ同情シ
 廣イ所、モノヲ理解シ、廣イ所ノモノヲ間接ニ行フ所ノ能
 力ガ、段々出來テ來ルノデハナイカト思フ、或ハ教育ニ於テ
 モ、是ハ十分ニヤルナラバ、或ハ社會ノ交際ニ於テモ、或ハ
 「インテリナシヨナル」ノ世界萬國ガ互ニ共通スルコトニナ
 レバ、一層私ハ宜カラウト思フ、殊ニ英吉利ノ女ハ非常ニ
 「インテリクチュアル」デアアルノハ、非常ニ英吉利ノ社會ガ然ラ
 シメタモノデハナカラウト思フ、故ニ私ハ女ト云フ者ハ、非
 常ニ廣イ意味ニ於テ、天才ハ發揮シナイケレドモ、或ハ私ハ
 矛盾デアアルカ知レマセヌケレドモ、歴史ノ語ル所ヲ見マスト、
 政治上ニ却テ天才ヲ有テ居ル、彼ノ「カタリナ」ノ如キ、「マ
 リヤテレサ」ノ如キ、「エリザベス」クキンピクトリヤ」ノ如キ、或
 ハ異多イナガラ我が今上皇后陛下ニ於カレテモ、矢張此大
 ナル所ノ政治上ノ天才ガ閃イテ居ルト思フ、是ハ何故カト
 云フト私ハ分リマセヌケレドモ、女ハ我子ヲ何人ト育テ、是
 ハ一人ヲ愛シテ一人ヲ愛サナイノデハナク、非常ニ子ヲ愛
 スルト云フ「インスチンクツ」ヲ有テ居ル、サウ云フ「ソ」ノ本
 能ヲ有テ居リマスカラ、其本能カラ導カレテ、矢張政治ガ
 出來ルノデナイカト思フ、併ナガラ私ハ、女ハ第一流ノ政治
 家デアルト云フコトヲ斷言シマセヌケレドモ、是ダケノ事ヲ申
 述ハテ、諸君ノ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレデゴザ
 イマスカラ、女ヲ政治ニ參加サセルト云フコトハ、非常ニ危イ

ト言ハレルカ知リマセヌケレドモ、私ハ決シテサウデナク、女ハ
 寧ロ保守的デアル、保存的デアリマスカラ、女ヲ社會ノ中ニ
 入レルト云フ、却テ危クナイト云フ事實ガ、彼ノ倫敦
 ノ大僧正ノ如キモ、女ニ參政權ヲヤラナケレバナラヌト云フ
 レタ、私ハサウ云フ意味ニ於テ、女ニ選舉權ヲ與ヘルト云フ
 コトハ、決シテ危イコトデハナイガ、今日ハ尙ホ男ニ普
 通選舉ヲ與ヘナイ時代デアリマスカラ、先ヅ第一若
 認メルコトガ最モ策ヲ得タモノデアアル、原首相ノ漸
 進主義カラ云フモ、最モ肝要適切ノモノデアナイカト思フ、
 原首相ハ、女ニ選舉權ヲ與ヘナケレバナラヌト云フコトニ
 御同意ガアルナラバ、尙ホ男子ノ選舉演說ヲ聽カセテヤル
 ヒタイガ、今日ハ御出ニナテ居ナイガ、ドウカ諸君、斯ウ云
 フ意味ニ於キマシテ、社會ノ漸次ニ進歩スル際ニ於テ或ハ、社
 會ノ連帶責任ニ於テモ、共同ノ社會ヲ進メテ行ク上ニ
 於テモ、政治ハ殺風景デアル、非常ニ殺風景ナル所ノ此時
 代ヲ取去ルト云フコトハ、矢張女ノ美トカ、愛トカ云フ發現
 ニ依テ、諸君ノ一部ガ善クナルノデハナカラウト思フ、諸
 君、列國ノ婦人ヲ私ハ見マスルノニ、彼ノ佛蘭西ガ何ガ故
 ニ斯ノ如キ大戦ニ長ク堪ヘタカ、私ガ佛蘭西ニ行キマシタ
 時ニ、其ノ時ニモ佛蘭西ノ女ハ一言モ發シナイデ默々トシテ
 仕事ヲ續ケテ行ク、涙ヲ壁サヌ所ノ佛蘭西ノ婦人ノ大ナル
 精神ハ何デアアルカト云フニ、昔アルサス、ロトリンゲンヲ
 獨逸ノ爲メニ取ラレタ、之ヲ彼等ニ支配サレルコトハ國辱
 デアル、人道ノ上ニ反スルト云フ思想ガ、此佛蘭西ノ國
 民ノ婦人ノ中ニ溢ラヌト云フ思想ガ、此佛蘭西ノ國
 長ク堪ヘタノデアアルト私ハ思フ、又英國デアリマス、英國ハ
 世界ニ冠タル國デアリマス、少クとも英國ノ名譽ヲ汚シテハ
 イカヌ、「ネルソン」ノ名譽ヲ汚シテハナラヌ、「トラファルガー」
 ノ名譽ヲ汚シテハナラヌト云フ所ノ思想、而シテ我が英國
 民ガ、世界ヲ支配スルノデアアルト云フ思想ガ、英國國民ノ
 腦髓ニ沁込シテ居ルカラ、私ハ英國ガ強クタルデアアルト思
 フ、或ハ米國ノ婦人ガ斯ノ如キ犧牲ヲ拂テヤタノモ、何デ
 アルカト申シマス、自由ト平等ト博愛ノ爲メニ、野蠻的、
 軍閥的官僚ヲ打破シナケレバナラヌト云フ思想ガ、亞米利
 カノ婦人ノ胸ニ少女ノ胸ニ、刻付ケラレテ居タノデアリカ
 ト思フ、諸君、彼ノ武士ノ精神ハ、昔日本ノ封建時代ニ
 武士ナル者ガアテ、武士ノ母、武士ノ兄弟ハ、此封建的、
 此武士ノ精神ノ結晶デアラ、デアリマスカラシテ、其夫ヲ
 諫メ、其兄弟ヲ諫メ、其子弟ヲ教ヘテ、サウシテ大ニ此封建
 時代ニ於テ缺クコトノ出來ナイ所ノ、一種ノ武士道ノ精神
 ヲ表示シタノハ、亦此女子ガ大ニ與テ力アリト思フ、然ル
 ニ諸君今日我が日本ハ、母親ガ家デ非常ニ人ヲ可愛ガル

ケレドモ、鳩山君ノヤウナ人ハ、少イ(笑聲、拍手)鳩山君ガ
 恐ラク私ハ、日本デ最モ幸福ナル一人デアルト云フコトヲ
 思フ者デアアル、何故カト云フ、家ニ母アリ、妻アリテ、政治
 ノ活動ノ爲メニ大ニ集中スルコトガ出來ルカラ、鳩山君ハ、
 決シテ喋々トシテ此處デ喋ラレナイノハ、其爲メデア
 リマセウカ(拍手、笑聲)私ハ内ニ於テ「ブレイキ」ガアッテ、サ
 ウシテ吾ガ軌道ヲ脱シナイヤウニ旨ク導イテ呉レタナラバ
 我が帝國ハ斷ジテ諸君ノ如キ——鳩山君ノ如キ人ガ多ク
 ナタナラバ、モウ少シ紳士的ニ行クノデアナイカト思フ、然ル
 ニ今日ハ——私ハ非常ニ母ノ厄イニナタテ者デアリマスガ、
 ドウモ一ツノ缺點ハ、母ガ政治ト云フモノヲ心得テ居ナカ
 タ、併シハ彼等ノ罪デハナイ、寧ロ日本帝國國ガ女子ニ向
 テ、汝ハ家庭ニ在リテ妻ヲ、良妻賢母ト云フコトハ、教
 ヘルケレドモ、國家ノ一員トシテ、良キ國家ヲ作ル爲メニ奮
 闘努力セヨト云フコトヲ教ヘナカッタ、ソレガ爲メニ今日吾
 ガ此處ヘ來テ、國家ノ信念ノ燃エナイト云フコトハ、是ガ
 一因デアナイカト思フ、斯ノ如キ事デハ——詰マリ今日ハ成
 金輩ガ多クテ、金儲ノ爲メニ議場ヘヤテ來テ惡イ事ヲスル
 ト云フノハ、母ガ吾ニ向テ、國家ノ爲メニ盡セヨト云フ信
 念ヲ、幼イ時ニ植込マナカッタ結果ニ外ナラヌト思フ、昔「ピ
 スマルク」ガ幼イ時ニ母ニ抱カレテ居タ、其時ニ血塗レニ
 ナッタ所ノ武士ガ——佛蘭西カラ逃ゲテ來タ一人ノ武士ガ、
 血塗レニナテ入ッテ來タノ母ガ匿シタ、サウシテ「ピスマル
 ク」ヲ抱キナガラ其武士ニ盡シテヤッタト云フコトガ、後年「ピ
 スマルク」ヲシテ、大ニ愛國心ヲ起サシメタ所ノ本デアルト云
 フコトヲ、專ラ獨逸デハ言ウテ居ル、吾ハ母ガ如何ニ大切
 ナモノデアアルカト云フコトヲ、能ク知ッテ居ル筈デアアルニ拘ラ
 ズ、今日此立憲の精神ニ滿テテ居ル所ノ母ヲ見出サナイノ
 ハ、母其人ノ罪デナクシテ、日本帝國ノ人々ガ女ヲ内ニス
 込シテ居レ、女ハ唯ダ飯ヲ焚イテ、兒ヲ産シテ、サウシテ老後
 ヲ見テヤレバ宜イモノダト云フヤウナ、固陋ノ見解ヲ以テシ
 タ罪デアアル、斯様ナ見解ヲ以テシテハ、到底五大國ノ一トシ
 テ、各國ト競争シテ、國際聯盟ヲ結バウカ結ブ「マイカト」云フ
 今日、或ハ何時復タ復タ戦争ガオシ始マラナイトモ限ラヌ、
 サウ云フヤウナ場合ニ於テ吾ニ急ニ慌テフタメイテ、日本ノ
 女ヲ「ゾロ」連レテ行ク所ガ、何等役ニ立タナイ、吾ハ今
 ノ時カラ大ニ奮闘シテ、サウシテ女子ニ對シテ、組織的秩序
 訓練ヲ大ニ施サナケレバナラヌト、私ハ確ク信ズル者デゴザ
 イマス、私ハ日本ノ現代ノ女ガ、色ニ法律上、或ハ刑法上
 或ハ民法上、或ハソレヲ行フ上ノ裁判官、或ハ色ノ工場
 主、資本家、或ハ上長ノ人々カラ、非常ナル壓迫ヲ蒙テ居
 ルト云フ歴史ヲ知ッテ居ル、而シテ日本ハ結婚問題ニ於キマ
 シテモ、女ニ對シテハ殆ド專制主義デアアル、民本主義デア
 ない親ガ勝手ニ定メテシマウノデアアル、而シテ又忌ムベキ惡イ職

業ノ選擇ヲモ餘義ナクサレテ、彼等ガ呻吟シテ居ル事實ハ、諸君モ見テ居ルデハナイカ、或ハ又色々ナ點ニ於テ女子ガ——或ハ男子ト同ジ様ニ働キマシテモ、僅ニ男子ノ三分ノ一シカ賃銀ヲ貰ヘナイト云フヤウナ、依估最負ガ女子ノ上ニ行ハレテ居ルト云フコトハ、看過スベカラサル所ノ日本憲政ノ汚點デナイカト思フ、其他日本ハ一切男ガ外へ出テ氣儘勝手ナ事ヲシテ、勝手氣儘ナ法律ニ依テ女子ヲ困ラセテ居テ、サウシテ自身ハ知ラヌ觀音ヲヤテ居ル、斯様ナ事ハ立憲國ノ民トシテ、吾々ハ非常ニ愧ツベキ事デアリマステレドモ、人々ガ之ヲ愧ヂナイト云フノハ、日本ニハ即チ善ヲ愛シ眞ヲ愛シ、美ヲ愛スル所ノ精神ガ無イカラデハナイカ、詰マリカヲ以テ壓迫スル官僭軍國ガ起テ居ルノモ、人權蹂躪事犯ガ起ルノモ、是等ノ色々ナ者ガ寄テ集テ、其處ニ流レテ行テ居ルノデハナイカト思フ、前ニ私ハ辰リマステレドモ、富士ノ山トモ警フベキ所ノ、雪ヲ踏ミ、眞如ノ月ヲ戴イテ、眞理ノ探究ニ從事シナケレバナラス、此ノ富士ノ山嶺ニ於キマシテモ、言論ヲ壓迫シ、少數黨ニ物ヲ言ハサナイト云フヤウナ雅量ノ無イ、眞理ヲ愛サナイ所ノ議員ガ多數ヲ制シテ、中央黨ヲ形造テ、獨逸ノ中央黨ト同ジ様ナ状態デアアルコトハ、私ハ實ハ嘆慨ニ堪ヘヌデアリマス、(拍手)ソコデ私ハ——私ドウカ——東洋ニハ女ガ四、五百万人少カクテ歐洲ニ於テハ四五百万人女ガ多ク、然ルニ今度ハ歐洲ニ於テハ、戰亂ノ間ニ人ガ殺サレマシタカラ、千四五百万人女ガ多クナテ來タ、東洋ニ於テハ四五百万人足ラヌノデアアル所ガ幸ニシテ日本ハ男女ノ數ガ合ウテ居ル、所ガ社會ノ發達スルニ從テ女ハ、男ヨリモ其數ガ殖エテ來ルナラバ、斯ウ云フ場合ニハ女ノ問題ガ頻々ト起テ、諸君ノ耳ヲ衝ク時ガ來ルデアラウ、或ハ小學校教員デモ、非常ナ勢ヲ以テ女子ノ教員ガ段々殖エテ來ルト云フヤウナ状態ニテ來ハシナイカ、男女共學ノ結果ハ、女子ノ教育モ亦之ヲ高カラシメルコトガ出來テ、或ハ其女子ノ活動ノ範圍ハ、地方行政ヨリ中央行政ニ及ビ、國政ノ上デ局長次官ガ女ニ於テ占メナケレバナラス、或ハ衆議院ノ副議長ガ、遂ニ女ニ於テ占メラレルト云フヤウナ事ガ無イトモ限ラヌ、(笑聲)私ハソレマデ隱忍シテ、ソレデ宜シイモノデアリマセウカ、吾々ハ常ニ社會ノ状態ト云フモノヲ——社會ノ趨向ト云フモノヲ見ナクレバナラス、諸君、私ハ今日男子ノ丁年以上ノ者ニ與ヘヨト云フ者デハナクシテ、私ハ今日男子ノ丁年以上ノ者ニ選舉權ヲ與ヘヨ、普通選舉ヲ斷行セヨト云フ者デアアル、而シテ之下同時ニ女子ニ向テモ、集會或ハ結社ノ自由ヲ認メテ女子モ矢張人間デアアル、三千万人ヲ形造テ居ル所ノ日本ノ忠良ナル臣民デアアル、陛下ノ赤子デアルト云フコトヲ思ウテ、是等ノ弱イ者ヲ虐ゲルノデナクシテ——「デモクラシイ」

ト云フモノハ、唯ダ均一ト云フバカリデアナイ、平等ト云フバカリデアナイ、弱イ者ヲ助ケテ之ヲ平等ニ穩健ニ之ヲ迎ヘテ行クト云フコトガ、「デモクラシイ」ノ本義トシテ、是ガ日本帝國ニ必要デアルト思フ、諸君、私ハ彼等モ日本帝國臣民デアルト云フコトヲ、議員諸君ガ殊ニ此點ニ注意セラレテ、唯ダ弱イ者ヲ壓迫シテ快ヲ取ルト云フコトナクシテ、日本帝國ノ臣民デアアル、日本帝國ニ於テ三千万人ヲ形造テ居ル所ノ臣民、此臣民ノ爲メニ盡サレタイ、男ト云ヒ、女ト云フモ、「モナブテン」デアアル、(簡單々々)「ト呼フ者アリ」一ノ靈子ノ活動ニ過ギナイ(笑聲起ル)故ニ吾々ハ唯ダ外形ヲ見テ、三圓以上ノ者ニハ與ヘルケレドモ、三圓以下ノ者ニハ與ヘヌトク、或ハ女ニハ集會ノ自由、或ハ結社ノ自由ヲ與ヘヌトク、サウ云フヤウナ刻シヤウナ事ヲセズシデ、大國民ノ態度ヲ以テ、世界ト調ヲ保テ行クト云フ上ニ於テ、諸君ガ内ニ於テハ男女協力シ、外ニ向テモ——女ノ代表員ヲ勞働會議ニ出シテ居ルヤウナ今日デアアルカラ、外ニ向テモ大ニ男女協力シテ、世界上ニ我ガ日本帝國ノ光輝ヲ増サナケレバナラヌト思フ、殊ニ原首相ハ、亞米利加ト親善ヲ結バナケレバナラヌト言ハレルケレドモ、内ニ於テハ女子ヲ虐ゲテドウシテ外ニ對スルコトガ出來ルカ、其言フコトハ奇麗ダケレドモ内容ガ空疎デアアテ、日本帝國ノ宰相タル所ノ値ナシト私ハ斷言シテ憚ラヌデアアル、諸君ハドウカ此案ノ提出ノ意味ヲ善ク諒解セラレテ、私ノ言ウテ末節ニ拘泥スルコトナクシテ、女子ニ政治上ノ集會、並ニ結社ノ自由ヲ與ヘラレタイ、我ガ日本今日混沌タル時代デアアル、暴風將ニ來ラントスル時代デゴザイマステレドモ、今ヤ此輝イタル所ノ太陽ハ、東カラ出テントシテ居ル、此新機運ノ改造ノ天地ニ於テ、女子モ大ニ優待シ、其人格ト自由ヲ認メテ、彼等ノ發達ハ即チ諸君ノ娘、諸君ノ孫、諸君ノ子々孫々ノ爲メデアリカラウカト思フデアリマス、故ニ私ハ此長時間諸君ノ前ニ在シテ、斯ノ如キ言ヲ吐イテ、諸君ヲ煩シタラデゴザイマステレドモ、ドウカ其意ノ在ル所ヲ察セラレマシテ、御採擇アラシコトヲ偏ニ願フデバ、マヌデアリマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ清瀨一郎君外三名提案ノ治安警察法ノ委員ニ併セテ付託セラレントラ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○副議長(梶谷義三君) 御異議ガアリマセメデスカラ、岩崎君發議ノ通り決定致シマス

○占植正一郎君 是カラ豫算委員總督ノ開キマス

○副議長(相合我二君) 次ハ日任弟五、國都鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、提出者ノ説明ヲ求メマス、日野辰次君

第五 國都鐵道建設ニ關スル建議案(日野辰次君外三名提出)

國都鐵道建設ニ關スル建議案

一 鹿兒島縣下國分驛ヨリ宮崎縣下都城驛ニ至ル鐵道
 右ハ鹿兒島縣下國分驛宮崎縣下都城驛間ヲ連絡スヘキ鐵道ニシテ之カ完成ノ曉ハ鹿兒島市ヨリ現在敷設セラレタル鹿兒島線及宮崎線ヲ經由スルヨリモ約三十六哩ヲ短縮シ沿道一帶ノ富源ヲ開發シ貨客ノ至便ヲ得テ事上ノ必要缺クヘカラサルモノニシテ政府ニ於テモ夙ニ鐵道網中ニ加ヘ居ル重要ノ線路ナリ

依テ政府ハ速ニ右鐵道敷設ノ計畫ヲ立テ民人交通ノ便宜ト地方無限ノ富源トヲ開發シ交通ノ完成ト國家經濟ノ發達トヲ圖ラレムコトヲ望ム

右建議ス

○日野辰次君 唯今議題ニ上リマシタ建議案ノ理由ヲ簡單ニ説明致シマス、此國都鐵道ハ、現在敷設サレテアリマス、鹿兒島線ノ國分驛ト、宮崎線ノ都城驛トヲ結著ケルモノデアリマス、我政府當局ニ於キマシテ、特ニ其大體ノ測量ヲ終ヘテ、豫定計畫ノ鐵道網中ニ加ヘテ居ル重要ノ線路デアリマス、是ガ敷設サレマスコトハ、宮崎鹿兒島兩縣民ガ多年齊シク熱望シテ措カザル所デアリマス、元來宮崎鹿兒島ノ兩縣ガ社會上、經濟上、最モ密接ナ關係ヲ有テ居ルノデアリマス、殊ニ宮崎縣ノ南ノ方ノ中心市場タル都城ノ如キハ、物資ノ集散等多クシテ、鹿兒島市ト大ナル關係ヲ以テ行ハレテ居ル状態ニ在リマス、加フルニ鹿兒島ノ港ハ、昨年ヲ以テ開港ノ實施ヲ見ルニ至ラタラデアリマス、南九州ノ物資ヲ吐吞スルノ機關モ備ダラデアリマス、又軍事上カラ申シマシテモ、都城ノ聯絡ト鹿兒島港トノ聯絡ハ最モ必要缺クヘカラザルモノト思ヒマス、故ニ此鐵道ガ敷設サレマシタ曉ニ於テハ、運輸交通ノ利便ハ申マデモナク、沿道一帶ノ富源ノ開發サレ、産業モ興リ、國家經濟ノ上ニ貢獻スル所、蓋シ少カラヌト思フデアリマス、仍テ我政府當局者ニ於テハ、速ニ此鐵道ノ建設ノ措置ヲ執ラレントラ切ニ希望シテ已マヌ次第デアリマス、尙ホ此建議案ハ、前期議會ニ提案サレマシテ、委員會ニ於テハ、滿場一致可決サレタルモノデアリマス、唯ダ解散ノ爲メニ其成立ヲ見ナカタラデ、遺憾トスル所デアリマス、ドウシテ今同ノ御贊同ヲ得テ、此建議案ガ成立ナマシテ、政府ニ於テモ然ルベキ處置ヲ執ラレントラ、茲ニ重ねテ希望シテ已マヌ次第デアリマス、尙ホ詳細シイ事ハ委員會ニ於テ申述ヘルコトニ致シマス(拍手起ル)

○岩崎勲君 本案ハ一官房治郎君外二名提出、隈森宇鐵道建設ニ關スル建議案外一件ノ委員ニ、併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ發議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 御異議ナケレバ其通り決シマス、次ハ日程第六延松鐵道建設ニ關スル建議ヲ議題ニ供シマス、提出者ノ說明ヲ求メマス、上塚司君

第六 延松鐵道建設ニ關スル建議案(上)

延松鐵道建設ニ關スル建議案
延松鐵道建設ニ關スル建議案

一官崎縣下延岡ヨリ三田井ヲ經テ熊本縣下濱町原町ヲ過キ松橋ニ達スル鐵道

本鐵道ハ産業ノ發展ニ資シ交通ノ不備ヲ補フ爲急設ヲ要スルモノト認ム依テ政府ハ速ニ本線ノ建設ニ著手セラレムコトヲ望ム
右建議ス

〔上塚司君登壇、拍手起ル〕

○上塚司君 延松鐵道速成建議案ノ趣旨ヲ辨明致シマス、本鐵道ハ宮崎縣下延岡ヨリ三田井ヲ經テ熊本縣下馬見原ニ至リ、濱町原町ヲ經マシテ、松橋ニ於テ九州鐵道本線ニ連接スルモノデゴザイマス、九州ノ中部ニ於キマシテ、東海岸ト西海岸トヲ連絡スル重要ナル橫斷幹線デゴザイマス、既ニ第四十一議會ニ於キマシテ、原田十衛君外三名ニ依リマシテ提案セラレ、本會ニ於キマシテ、滿場一致ヲ以テ可決セラレタモノデゴザイマス、次デ鐵道院ノ實地測量ヲ經マシテ、重要ナル橫斷線ノ一部ナルコトヲ確證セラレタモノデゴザイマス、申スマデモナク本線ハ、九州中部ノ開發ニ最も重大ナル意義ヲ持テ居ルモノデゴザイマス、政府ハ速ニ此工事ニ著手セラレシコトヲ求メマス(拍手起ル)

○岩崎勲君 本案ハ日程第五同ジク、一官房治郎君外二名提出隈森宇鐵道建設ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ、併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ御發議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ
○副議長(粕谷義三君) 御異議ナケレバ其通り決シマス、次ハ日程第七、官幣大社出雲大社境内擴張費國庫補助ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、提出者ノ說明ヲ求メマス

第七 官幣大社出雲大社境内擴張費國庫補助ニ關スル建議案(原夫次郎君提出)

官幣大社出雲大社境内擴張費國庫補助ニ關スル建議案
官幣大社出雲大社境内擴張費國庫補助ニ關スル建議案

官幣大社出雲大社境内ハ、往古頗ル廣大ナル地積ヲ占メ、幽邃閑雅ニシテ神德ヲ奉頌スルニ足ルモノアリシカ爾來物換星移其ノ規模漸ク縮小シテ僅ニ二萬三千餘坪ニ過キサルニ至レリ斯クテハ以テ神威ノ崇高ヲ宇内ニ發揚スルニ足ラス依テ政府ハ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ爲シ祠域ノ擴張ニ資スヘシ

〔原夫次郎君登壇、拍手起ル〕
○原夫次郎君 本員ハ唯今議題トナリマシタ建議案ニ就テ、其提案ノ理由ヲ開陳シヤウトスル者デゴザイマス、出雲大社ハ、我國ノ官幣大社中ノ官幣大社デアリマス、我國ノ最モ古キ名社デアルト云フコトハ、本員ガ今更茲ニ喋々本致サナイデモ、諸君ノ能ク御了承ニ相成テ居リマスルガ如ク、此大社ニ鎮座在マス所ノ祭神ハ、大國主大神デアリマシテ、我國土ヲ經營セラレ、遂ニ幽世ノ主宰トナラレマシタノデゴザイマスガ、夙ニ農業ノ業ヲ御振興ニナリマシテ、浴ク殖産ノ業ヲ御獎勵ニ相成リマシタシ、又醫藥ノ津柄或ハ禁厭ノ法ヲ御創始ニナリマシテ、其爲メニ萬民ヲ救済セラレマシタガ、我國民一般ガ、或ハ此大神ヲ尊稱シテ福ノ神ト唱へ、或ハ縁結ノ神ト唱へ、來リマシテ、今日ニ至ルマデ、我が國民ガ崇敬措カナイ神様デゴザイマス、我が國民全體ガ獨リ尊崇措カナイノミナラス、歷朝ニ於テセラレマシテモ、此大神ニ多大ノ尊崇遊バサレマシテ、現今ニ至ルマデ此大社ノ大祭ニ當リマシテハ、態、勅使ヲ御派遣ニ相成ルト云フ有様デゴザイマス、隨テ古キ時代ニ於キマシテハ、此境内ハ極メテ廣大デアリマシテ、東西モ二里、南北モ二里ニ達シ、非常ニ廣ミト致シマシテ、此雄偉ナル大神ノ御威德ヲ奉頌スルコトニナテテ居リマシマスルガ、段々物變リ、星移ルニ從ヒマシテ、此區域ガ縮小致シマシテ、現今ニ在リマシテハ、此神社ノ領域ナルモノハ、僅ニ二萬三千七百餘坪ニ過ギナイト云フコトニナテテ居リマシマス、此所在町ノ發展ニ伴レマシテ、此神社ノ參道並ニ大鳥居ノ邊ニ於キマシテハ、或ハ劇場デアルトカ、或ハ料理屋デアルトカ、或ハ宿屋デアルトカ云フヤウナ人家ガ、頻リニ迫テ參リマシタ爲メニ、折角ノ此名社ノ威信ヲ損スルコトガ夥シイデアリマス、爲メニ日々參拜者數百人、若クハ數千人ノ人達ノ敬虔ノ念ガ、著シク薄ライデ參リマシマス、本員ハ世人ト共ニ、此點

ニ向テ多大ノ遺憾ヲ持テ居ル者デゴザイマス、唯ダ是ハ獨リ信者ノ遺憾ノミナラス、我が國民思想ノ上ニ於キマシテモ、餘程影響ノアル問題デアルト云フコトハ、是亦私ガ爰ニ喋々スルコトヲ要セナイ問題デアリマス、併ナガラ政府ニ於キマシテハ、未ダ此點ニ御著手ガ無イデアリマス、爲メニ昨今此大社ノ講中ノ者ガ、神苑會ナルモノヲ發起致シマシテ、世人カラ寄附ヲ集メ、其寄附金ニ依テ、大社ノ境内ノ風致ニ害ノ有ル所ノ此劇場トカ、或ハ料理屋トカ云フモノヲ他ニ移轉セシメ、又參道ノ兩側ハ極メテ荒廢致シテ居リマシテ、此土地ヲ擴ゲテ、サウシテ其所ニ一大神苑ヲ造リマシテ、此雄偉ナル大神ノ威德ヲ奉頌センコトヲ企圖致シテ居ルノデゴザイマスルガ、何分ニモ時節柄多額ノ費用ヲ要シマスルノデ、到底此寄附金ノミヲ以テハ、是ガ設計ヲ完了スルト云フコトガ出來ナイノデゴザイマス、仍テ政府ニ於カセラレマシテハ、此事業ヲ御補助ニナル爲メニ、國庫カラ應分ノ補助アラシコトヲ建議致ス次第デゴザイマス、宜シク御協賛ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○岩崎勲君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 別ニ御異議モ無イヤウデアリマス、岩崎君ノ發議ノ通り決シマス、日程第八南日隅鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題トナシ、提出者ノ說明ヲ求メマス、津崎尙武君

第八 南日隅鐵道建設ニ關スル建議案(津崎尙武君外三名提出)

南日隅鐵道建設ニ關スル建議案
南日隅鐵道建設ニ關スル建議案

一鹿兒島縣下國分驛ヨリ肝屬郡古江、嚙嚙郡志布志ヲ經テ宮崎縣南那珂郡福島ニ至リ日南東部鐵道ニ連接スル鐵道

本鐵道ハ廣大ナル南九州ノ富源ヲ開發スルニ必要ナルノミナラス現ニ軍事上樞要ノ線路タリ且將來世界的港灣タルヘキ有明灣ト九州幹線鐵道トヲ連絡スヘキ最重要ナル鐵道ニシテ政府ニ於テモ夙ニ鐵道網中ニ加ヘ居ル線路ナリ依テ政府ハ速ニ右鐵道敷設ノ計畫ヲ立テ交通ノ便ヲ開キ富源ノ開發ニ資セラレムコトヲ望ム
右建議ス

〔津崎尙武君登壇、拍手起ル〕

○津崎尙武君 我ハ唯今議題トナリマシタ、南日隅鐵道建設ニ關スル建議案ノ說明ヲ致シタト思ヒマス、此鐵道ハ鹿兒島本線國分驛ヨリ分岐致シマシテ、鹿兒島縣下肝屬郡即チ大隅半島ノ西海岸ヲ南下致シマシテ、更ニ同半島

ヲ横斷シテ、有明灣頭ノ嚙啖郡志布志ニ至リ、ソレカラ宮崎縣南那珂郡福島ニ至リマシテ、過日長峰與一君外三名ニ依リマシテ提出セラレマシタ、同南東部鐵道ニ連絡スル線路デゴザイマス、鐵道建設ノ建議案ト申シマスレバ、或ハ地方ノ産業開發上必要アルトカ、軍事上緊要ナ線路アルトカ云フ説明ガ付クノデゴザイマスガ、本案モ固ヨリ其通りデアルノデゴザイマス、唯ダ鐵道ノ建議案ガ多數出ルノデゴザイマスガ、是ハ考ヘテ見マス、地方ト致シマシテハ、極メテ地方開發ノ爲メニ、其必要ヲ感ズルノデゴザイマスナケレバ地方選出ノ議員ガ之ヲ議會ニ紹介シ、建議スルデナケレバ其聲ガ通ズル方法ガ無いデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、此鐵道モ矢張地方ノ色ニ見地カラ、極メテ必要ナノデゴザイマスナケレドモ、從來未ダ其建設ニ著手セラレズシテ、今日ニ及ンダノデゴザイマス、唯今此沿路ニハ、五哩餘ノ私設輕便鐵道ガ在リ、更ニ十哩ノ延長ヲシヤウトシテ居ルノデゴザイマスナケレドモ、以テシマシテハ、如何ニシテモ其地方ノ満足ヲ買フコトガ出來ヌノデゴザイマスナケレドモ、此鐵道ヲ政府ニ於キマシテ調査セラレテ、建設アラシコトヲ希望スル次第デゴザイマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ日程第五第六ト同ジク、一官房治郎君外二名提出ノ、隈森宇鐵道建設ニ關スル建議案外三件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 御異議ガ無ケレバ岩崎君ノ發議ノ如ク決シマス、次ニハ日程第九、宇都宮監獄位置移轉ニ關スル建議案、提出者植竹龍三郎君

第九 宇都宮監獄位置移轉ニ關スル建議案

案(植竹龍三郎君外四名提出)

宇都宮監獄位置移轉ニ關スル建議案
宇都宮監獄ハ宇都宮市街ノ中央ニ位スルヲ以テ市ノ發展ヲ阻礙シ且風教上ニ惡影響ヲ及ホスノミナラス罪囚懲治上ニモ支障カラスト認ムルニ付速ニ市郊外適當ノ位置ニ移轉セラレムコトヲ望ム
右建議ス

〔植竹龍三郎君登壇、拍手起ル〕

○植竹龍三郎君 宇都宮監獄位置移轉ニ關スル建議案デアリマスガ、宇都宮ノ監獄署ハ今ヲ去ルコト三十五年前提、明治十七年ニ、其當時軍用地デアッタ所ヲ、監獄署ノ場所ニ致シテデアリマス、隨テ其當時ノ市街カラスト云フト、非常ニ遠隔ノ土地デアッタノデアリマス、然ルニ明治二十三年ニ、其軍用地ガ私有地ニ編入サレマシテカラ、今日

ニ至ルマデ約三十年ヲ經過シテ居リマス、隨テ地方ノ發展ニ就テ人口ガ増加シマシテ、今デハ監獄署ガ市街ノ殆ド真中ニナッテ居ルノデアリマス、宇都宮市ハ御承知ノ通り、地方ノ一小市デアリマスガ、栃木縣所在地トシテ、又第十四師團ノ所在地トシテ、東京カラ仙臺間ニ於テハ、最モ大ナル人口ヲ擁シテ居ルノデアリマス、而モ其市民ハ監獄署ヲ取捲イテ生活シテ居ルコト云フ、實ニ奇ナル現象ヲ呈シテ居ルノデアリマス、監獄署ノ西ト東ニ小學校ガアリマス、其小學校ニ通ッテ居ル所ノ數千ノ兒童ハ、日ニ鐵鎖赤衣ノ囚人ヲ見マシテモ、何等怪シムコトノナイヤウナ、實ニ寒心スヘキ現象ヲ呈シテ居ルノデアリマス、又監獄署ノ北方百歩ヲ出デズシテ、花柳ノ巷ガアルノデアリマス、時ニ弦歌艶聲ハ囚人ノ耳ヲ掠ムルモノガアッテ、懲治上甚ダ支障ガ多イト云フコトヲ見マシテ、市民ハ度々此事ヲ陳情シマシテ、既ニ大正七年三月十四日本院ニ請願書ヲ提出シマシテ、全會一致ヲ以テ通過シテ居ルナウナ次第デアリマス、ドウソウ云フ次第デアリマスナラ、是ハ一地方ノ問題デアリマスガ、社會風教上ノ問題トシテ、一日モ早ク本案ガ可決サレマシテ、政府ニ於テ其實行ヲ見ルコトヲ、私共ハ非常ニ期待シテ居ル次第デアリマス、何分宜シク……(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 岩崎君發議ノ通り、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 其ノ通り決シマス、次ハ日程第十ト十一ノ此二案ハ、説明書ガ同一デアリマスナラ……

○副議長(粕谷義三君) イヤ問題ハ違ヒマスガ、説明者ガ同一デアリマス、説明者ガ同一デアリマスナラ、一括シテ議題ト爲シマシテ、サウシテ説明ヲ聽キタイト思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 御異議ガゴザイマセヌケレバ、日程第十、癩兵優遇ニ關スル建議案、日程第十一、勢和鐵道速成ニ關スル建議案、提出者津野田是重君

第十 癩兵優遇ニ關スル建議案(津野田是重君外一名提出)

癩兵優遇ニ關スル建議案
癩兵優遇ニ關スル建議案
目下現在セル約一万八千人ノ癩兵中其ノ大部ハ物價騰貴住宅不足ノ爲名狀スヘカラサル窮境ニ在リ而シテ

之ヲ現狀ノ儘放置スル吾人ノ忍ヒサル所ナリ政府ハ速ニ增加恩給法ノ改正ヲ始メ癩兵ノ罹病者ニ對シテハ國費ヲ以テ之ヲ治療シ及國有鐵道船舶等ニ無賃便乘ヲ許スノ規定ヲ設クル等癩兵優遇ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム
右建議ス

第十一 勢和鐵道速成ニ關スル建議案

(津野田是重君外十名提出)

勢和鐵道速成ニ關スル建議案
一奈良縣下櫻井驛ヨリ三重縣下松阪驛ニ至ル鐵道右ハ既成線タル奈良縣下櫻井驛ヨリ三重縣下松阪驛ニ連絡セシムトスルモノニシテ奈良、三重兩縣ノ資源ヲ開拓シ且關西地方ノ國民ヲシテ敬神ノ實現ヲ容易ニシ風教ノ向上ニ資スルコト大ナラシムル利アリ故ニ相當ノ計畫ヲ立テ之ヲ建設セラレムコトヲ望ム
右建議ス

〔津野田是重君登壇、拍手起ル〕

○津野田是重君 私ハ癩兵優遇ニ關スル建議案ヲ提出シタデアリマス、此癩兵優遇ト申シマスコトハ、詳細ニ申シマスレバ、第一增加恩給法改正、戰時病沒者ノ遺族ニ係ル扶助法ノ改正、又癩兵ガ旅行ヲシマス場合ニ、國有鐵道汽船等ニ無賃ヲ以テ便乘セシムル優遇法、並ニ病氣ニ罹リマシタ場合ニ、國費ヲ以テ治療セシムル、此四件デアリマス、御承知ノ通り此癩兵ハ、日露戰爭直後ニ於キマシテハ、約五万五千アリマシタ、然ルニ十五年ヲ經過シタ今日ニ於テハ、僅ニ一万八千足ラズニ減少シテ居リマス、即チ不具癩疾トナリマシタ者ガ天壽ヲ縮メルコトハ、斯ノ如ク外ノ人ヨリカモ迅速デアリマス、此衰ムヘキ癩兵ガ現下ドウ云フ狀況ニ在ルカト申シマスレバ、實ニ見ルニ忍ビヌコトガ多々デアリマス、其一例ヲ述ベマセウ、先ツ兵卒ニ就テ申上ゲマス、今日巢鴨ニ出來テ居リマス所ノ癩兵院、彼處ニ於キマシテハ、一日一人ガ食シマス所ノ食料ガ五十八錢五厘、然ルニ戰ノ爲メニ片腕ヲ失クシタ所ノ五人ノ家長トナッテ居ル者ガ受クル所ノ其恩給、並ニ增加恩給ハドウデアルカト申セバ、恩給ガ僅ニ五十四圓、增加恩給ガ六十圓、即チ癩兵院ニ入院シテ、一箇月十八圓ノ給料ヲ受ケル者ヨリカモ六圓以上少ナイ、之ヲ以テ到底衣食ノ出來ヌト云フコトハ何人モ疑フ人ハアリマスマイ、又下士ニ於キマシテ、是ハ日露戰爭ノ時凍傷ノ爲メニ兩手ヲ失クシテ居リマス、此者ガ受ケマス所ノ恩給ガ約百圓、增加恩給ガ兩手ヲ失ハシテ居ルニモ拘ラズ、是ハ戰ノ傷デナイト云フゾ、僅ニ七十七圓デア

リマス、是亦同ジク五人ノ家族デアリマシテ、其家族ノ有様タルヤ、實ニ見ルニ忍ビヌト云フコトデアリマス、是ハ下士ノ境遇更ニ將校ニ至リマシテ、海軍ノ三須大將ト山岡中佐、此二人ヲ比較シテ見マセウ、三須海軍大將ハ日露ノ役早々デアリマシタガ、一眼怪我ヲサレマシタニモ拘ラズ、爾後約十年間現役ニ居ラレマシタ、今日現役ヲ御退ニナツテ受ケタル、所ノ一其一眼ヲ失ウテ、而モ十年間現役ニ堪ヘタ方ガ御受ニナル其増加恩給ハ、約八百六十圓デアリマス、然ルニ山岡中佐——旅順ニ於テ有名ナル所ノ山岡中佐ガ兩眼ヲ失ウテ、サウシテ全ク將來ハ暗黒デアリマス、其哀ムベキ境遇ニ在ルニモ拘ラズ僅ニ八百圓デアリ、如何ニ此現行ノ増加恩給制度、扶助法等ガ時勢ニ適セヌカト云フコトハ、之ヲ以テモ判リマス、現今ノ此増加恩給、其他ニ關スル所ノ法律ハ、大將ガ二千圓、兵卒ハ六十圓、一體大將デアラウト兵卒デアラウト、一ツノ手ヲ失クシタナラバ、不自由ナコトハ人間ニ變リハナイ、是ハ全ク此歐洲戰亂後佛蘭西ガ執テ居ルヤウニ、デモクラチク「デナケレバナラヌ」(同感)ト呼フ者アリ「ダカラドウシテモ斯ウ云フ不當ナ、上ハ二千圓下ハ六十圓ト云フヤウナ現行制度ハ、之ヲ改廢スル必要ガアルト思ヒマス、ソレカラ又現行制度ハ、此負債ヲ綜合シテ計算ヲ致シテ居リマス、綜合ト云フハ、三回怪我シタノモ、五回怪我シタノモ、或ハ一回怪我シタノモ、其怪我シタ中デ一番重イノヲ取テ居ル、是ハ其當ヲ得ナイ、佛蘭西ナリ、亞米利加ナリ、英吉利ナリノ如キハ、此軍服ノ左ノ袖ノ所ニハ、大ナル戰ニ參加シタ其回数ヲ現シ、右ノ方ニハ怪我ヲシタ其數ヲ現シテ居リマス、即チ五回怪我シタ者デアレバ、其五回ノ怪我ニ相當スル所ノ累加恩給ヲ受ケルノデアリマス、是ガ私ハ適當デアラウト思ハレル、我國ハ三種ニナツテ居テ、而モ綜合シタ負債、其一番重イノヲ取テ居ル、是亦適當デナイト思ヒマス、ソレデ現今ノ如ク瘡兵ヲ路頭ニ迷ハセヌ、又中ニハ此哀レムベキ瘡兵ヲ利用シテ、我利ヲ貪ル人ガアリマス、御承知ノ通り瘡兵徵章ト云フモノハ是ハ純然タル國家ノ爲メニ傷イタ者デナケレバ渡サヌノデアリマス、ソレヲ惡イ者共ガ、或ハ欺カシテ質ニ取リ、或ハ其瘡兵徵章ヲ持テ居ル者以上ニ稼イテ、其純益ヲヤルト云フヤウナ約束分捕テ、實際彼ノ瘡兵徵章ヲ付ケテ藥ヲ賣リ、或ハ其他ノ物ヲ賣リニ來ル者ハ、眞ノ瘡兵ハ僅ニ七分ノ一二過ギヌト云フコトデアリマス、是亦法ノ制度ガ惡イ佛蘭西ノ如キ瘡兵ノ徵章ハ、固ヨリ他人ニ貸スコトモ質ニ入レルコトモ出來ナイ、サウ云フ事ヲスレバ罰セラレルノミナラズ、之ヲ質ニ取リ或ハ借リテ應用スル者ハ、三倍ノ罰金ヲ拂フコトニナツテ居リマスガ、是亦適當ナ方法ト私ハ思ヒマス、免三角此瘡兵ノ現今ノ有様ハ我建國ノ大本、即チ古來武ヲ以テ立ツト云フ此大精神ニ取テ付ケ、將來事アル

時ニ、進シテ獻身的ノ行ヲ爲スト云フコトニ、大ナル缺點ヲ印スルモノデアルト思ヒマス、ドウカ此際至急政府當局ヲ促シテ、此改正ヲ實行セラレンコトヲ切ニ希望致シマス、ソレニ就キマシテハ、歐米諸國ノ例ニ則リマシテ、私ハ最低五五百圓——傷病ノ種類ノ例ハ、兩眼ヲ失ウテ、兩手ヲ失クシテ、兩足ヲ失クシテ、ソレヲ第一等トスル、或ハ一眼、一腕、一腳、之ヲ第二等ト云フ工合ニ、十分ナル醫術上ノ診斷ニ依テ六等ニ分テ、最低ヲ五百圓トシ、最高ヲ一千圓トシ、サウシテ階級ノ如何ニ拘ラズ、其傷病ノ重イ者カラ輕イ者ニ平等ニ増加恩給ヲヤルト云フコトガ、適當デアラウト思ヒマス、ソレカラ鐵道汽船等ニ便乗ノコトデアリマスガ是ハ今規則ガ無イデアアリマセヌガ、非常ニ窮屈デアリマス、例ハ、鹿兒島縣ノ人ガ北海道ニ旅行ヲスル、其旅行ヲスル一箇月モ二箇月モ前カラ鐵道院ニ願ウテ、旅行ノ目的、日數等、唯ダノ怪我セヌ者デモイヤニナルヤウナ面倒ナ手續ヲシナケレバナラヌ、是ハ全ク空文ニ過ギマセヌカラ、ドウカモウ少シ瘡兵ノ章ヲ持テ居ル者ハ、之ヲ「パス」的ノモノト看做シテ、出來ルタケ便宜ヲ與ヘ、或ハ兩手、兩足、兩眼ヲ失フ者ハ其附添人ニモ無賃テ乘車乘船セシムル方法ヲ講ジタイト思フ、ソレカラ病氣ニ罹ラタ者ハ、國費ヲ以テ治療スルコトハ當前ノ事デアリマス、此事ニ就キマシテハ、然ラバ此財源ハ如何ニスルカト云フ仰セガアリマセウガ、財源ニ就キマシテハ、幸ニ荒川五郎君ノ非役壯丁稅法案ナルモノガ提出ニナツテ居リマスガ、是ハ歐羅巴ニ最モ能ク行ハレ、殊ニ瑞西ノ現行法ハ其標本トナツテ居ルデアリマス、私共ハ個人トシテ絕對ニ御同感デアリマス、是ガ通過スレバ、財源ニ窮スルコトハナイト思ヒマス、次ニ申上ゲマス事ハ、勢和鐵道敷設ニ關スル建議案デアリマス、是ハ餘リ喋々ヲスル必要アリマセヌガ、伊勢ニ御參リテ致シマスノニ、和歌山縣ソレカラ四國ノ半分カラハ、四角形ノ三邊ヲ廻ラユウナ狀況ニナツテ居リマス、又九州地方カラハ、三角形ノ二邊ヲ廻ラユウニナツテ居リマス、然ルニ私ノ建議ハ、奈良縣ノ櫻井カラ三重縣ノ松阪ニ通ズル鐵道ガ出來レバ、遠ク廻ラナイデ、四角形ノ三邊ヲ省略スルコトガ、出來、又三角形ノ二邊ヲ節約スルコトガ出來ル、而シテ彼ノ地方ハ、山林、産業ニ頗ル熱心デ、良イ物ガ出マスカラ、國民民福ノ爲メニ宜カラウト思ヒマス、是亦御贊同アラント望ミマス

○岩崎勳君 日程第十八、荒川五郎君外三名ニ係ル非役壯丁稅法案ノ委員會ニ併セテ付託シ、日程第十一ハ議長ノ指名ヲ以テ、特二十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕下呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリ

マセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト下呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ハ無イト認メマス、仍テ岩崎君ノ動議ノ如ク決シマス——次ハ日程第十二、四國循環鐵道ノ議環……

○津野田是重君 非役壯丁稅法案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○副議長(粕谷義三君) 宜シウゴザイマス

○津野田是重君 委員ノ方ハ御參集ヲ願ヒマス

○副議長(粕谷義三君) 日程第十二、四國循環鐵道完成ニ關スル建議案、提出者ノ説明ヲ求メマス、——水野吉太郎君

第十二 四國循環鐵道ニ關スル建議案 (原田佐之治君外三提出)

四國循環鐵道完成ニ關スル建議案

四國循環鐵道中德島縣下小松島港ヨリ日和佐町高知縣下安藝町ヲ經テ後免町ニ至ル阿土南海岸線及愛媛縣下八幡濱町ヨリ宇和島町高知縣下中村町ヲ經テ須崎町ニ至ル豫土西海岸線ノ建設ハ最緊急必要ナル線路ナリト認ム依テ政府ハ速ニ四國鐵道海岸線ヲ完成シ以テ大ニ地方産業ノ發達ヲ促進セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔水野吉太郎君登壇、拍手スル者アリ〕

○水野吉太郎君 四國循環鐵道完成ニ關スル建議案ノ説明ヲ致シマス、四國循環鐵道ハ、其一部ヲ成シマスル所ノ北方面ニ於キマシテ、既ニ德島縣下小松島マデ、西ハ愛媛縣下八幡濱マデ、或ハ既ニ建設ヲ終リ、若クハ現在ニ於テ建設中デアリマスノデ、近キ將來ニ是ハ完成スル筈ニナツテ居リマス、故ニ本員共ハ、東德島縣下小松島ヨリ同縣日和佐町ヲ經テ、高知縣安藝町ニ入り、更ニ同縣後免町ニ至ル線路、西ハ愛媛縣ノ八幡濱町ヨリ同縣ノ宇和島ヲ經テ、更ニ高知縣下中村町ニ入ツテ、サウシテ須崎町ニ至ル線路此線路ヲ成ルベク早く建設シテ、四縣ノ聯絡ヲ之ニ依テ完成シタイト考ヘテ居リマス、尤モ宇和島ヨリ中村町ニ至ル線路ハ二線アリマスノデ、海岸線ヲ參リマスルナラバ、宇和島ヨリ宿毛ヲ經テ中村ニ至ルモノ、ソレカラ又少シク山ノ手ニ廻リマスナラバ、宇和島ヨリ江川崎村ヲ經テ、サウシテ中村ニ至ル線路、是ハ二ツアリマスルガ、固ヨリ吾等ト致シマシテハ、二ツノ線路ヲ、何レモ同時ニ建設ヲ致シタイト思ヒマスケレドモ、是モ經費其他ノ都合ニ依リ、已ムナクンバ政府ノ採擇ニ依テ、一ヲ建設セラレテモ差支ナイノデアアル、

宛三角四國四縣ノ連絡ヲ之ニ依テ保チタイト考ヘテ居リマ
ス、此鐵道ノ沿線ニハ、隨分澤山ノ產物モアリマスノデ、鐵道
經濟ノ上カラ考ヘマシテモ、私設ノ數社ヨリハ、遙ニ是ハ優
良ナルモノデアルト云フコトヲ思ヒマスノミナラズ、元來四國
ノ此方面、即チ瀬戸内海ニ向イテ居リマス方面ハ、是ハ極
メテ波モ靜デアリマスノミナラズ、天然ノ良灣モ澤山アリ
マス、隨ヒマシテ假令汽車ノ建設ヲ致シマセズトモ、尙ホ地
方ノ產業ノ開發ヲシ、富源ヲ開クト云フコトハ、港灣ニ依テ
モ大ニ達セラル、ダケノ便利ヲ持テ居リマス、翻テ吾々ガ
今提倡致シマス所ノ南海岸ヲ見マスルト、勿論天然ノ良港
ト致シマシテハ、一ツモアリマセヌ、加之太平洋ノ荒浪ヲ受ケ
テ居リマス所ノ、交通ノ洵ニ不便ナ土地デアリマス、ソレ故
ニ若シ此汽車ガ通過シナイト云フコトニナリマスルナラバ、
南海岸ニ澤山アル所ノ資源ハ、全ク死藏セラレテシマツテ、
決シテ是ガ開發セラルベキ機會ガ無イデアル、故ニ國家ノ
爲メニ非常ニ不利益デアルト考ヘル、故ニ本員共ハ北海岸
ヨリモ、南海岸ヲ成ルベク早く建設ヲスルト云フコトガ、產
業開發ノ上カラ云ウテモ洵ニ必要デアルガ、宛三角北海岸
ハ既ニ出來ツ、アルカラ、急イデ南海岸ニ建設ヲシタイ、斯
ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、此申シマスルコトハ、唯ダ鐵道
ノ所謂鐵道經濟、若クハ資源ノ開發ト云フ事カラ、見地
ニ基ツイテ、申上ゲルコトデアリマスレドモ、此二ツノ理由
ノ外ニ、私ハ本案ガ國民ノ思想ニモ影響ヲスベキ、洵ニ重要
ナル意味ヲ持テ居ル一大國策デアルト云フコトヲ、諸君ノ
御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレハ何デアルカ、元來四國
鐵道ノ建設ニ就キマシテハ、其人口ト其物資ノ比較ヲ致シ
マスルト、他府縣ノソレヨリハ遙ニ遲レテ居リマス、此遲レテ
居リマス所ノ理由ハ、勿論土地ノ偏在スルト云フコトモ
原因ヲ致シマスルガ、又政治上ニ於キマシテ洵ニ勢力ガ微
弱デアルト云フコトモ、一原因ヲ爲シテ居ルノデアリマス、
是等ノ原因ニ依リマシテ、鐵道ノ敷設ガ遲レテ居ルト云フ
コトハ、洵ニ是ハ已ムヲ得ヌモノト致シマシテモ、南海岸高
知縣ノ如キニ至リマシテハ、是ハ實ニ極端デアリマス、御承
知ノ如ク高知縣——高知縣下ニ於テ僅ニ縱貫線ガ敷設セ
ラルベク建設セラルベク確定ヲ致シマシテ、一部其建設ニハ
著手ヲシテ居リマスレドモ、未ダ一寸ノ鐵道モアリマセヌ
シ、又勿論汽車ノ煙モ見タ者モアリマセヌ、而シテ其交通ハト
云ヘバ、太平洋ノ荒浪ヲ切テ、港ト云フ港ノ無イ所ヘ行カ
ナケレバナラヌ所デ、高知縣ノ交通ハ殆ド命懸テアル、ソレ
デ京阪地方ノ役人共ガ高知縣ニ轉任ヲ命ゼラレト、全ク
島流シニ會テ氣持デ赴任シテ居リマス、是程ノ不便ナ處
ニ高知縣ガ抛擲サレテ、天下ノ何人ヨリモ願ミラレテ居リマ
セヌ、同ジク 陛下ノ赤子デアリマス、而シテ同ク租稅ノ重キ
ノ擔ヒ、又同ジク兵役ノ義務ニ就テ居リマス、國家ニ對スル

御奉公ハ、決シテ遲レテ居リマセヌノニ拘ラズ、獨リ高
知縣七十方ノ民ハ、國家ノ施設致シマスル文明ノ恩惠ニ
對シテハ、一寸モ之ニ浴スルコトガ出來ヌト云フコトガ、果シ
テ吾々ガ公平ト云フコトカラ見テ、此所謂公平觀ニ於テハ、
安心スルコトガ出來ルデゴザイマセウカ、私ガ國民思想ニモ
影響スルト云フ、重大ナル國策ガ之ニ含まレテ居ルト申上
ゲルノハ、即チ此譯デアリマス、(ヒヤ——ト呼フ者アリ)故
ニ私共ハ成ルベク早く四國循環鐵道ヲ完成致シマシテ、政
府ノ施設、所謂國家ノ施設ハ、至公至平デアルト云フコトヲ
明カニスルト共ニ、又高知縣七十方ノ國民ヲシテ、聖恩ノ
冷キコト洵ニ露ノソレノ如シト云フコトニ感激セシメテ、
益、奉公ノ志ヲ激マスト云フコトハ、洵ニ國家ノ爲メニ至幸
ナ事デアルト私ハ考ヘマス、是ガ建議案ノ理由デアリマス
○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、特ニ二十八名ノ委員
ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ御發議ニ御異議ハア
リマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(粕谷義三君) 御異議ガナケレバ動議ノ如ク決
シマス——次ハ日程第十三、阿豫鐵道池田、川之江線敷
設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者ノ說明ヲ求メ
マス、河上哲太君
第十三 阿豫鐵道池田、川之江線敷設ニ
關スル建議案(原田佐之治君外
七名提出)
阿豫鐵道池田、川之江線敷設ニ關スル建議案
阿豫鐵道池田、川之江線敷設ニ關スル建議
阿豫鐵道池田、川之江線敷設ニ關スル建議
通フ敏活ニシ之カ利用ハ、產業ノ發展上最有利ナリト認
ム依テ政府ハ、速ニ之カ敷設ヲ計ヲ立テラレムコトヲ望ム
右建議ス
〔河上哲太君登壇、拍手起ル〕
○河上哲太君 簡單ニ說明ヲ申上ゲマス、本案ハ德島縣
池田ヨリ愛媛縣川之江ニ至ル鐵道ノ速成ヲ、政府ニ向テ
望ミ、本案デゴザイマス、僅ニ約八哩程ノ線デアリマシテ、線其
物及案其物ハ、非常ニ簡單デアリマスレドモ、德島縣高
知縣其他ト、將來川之江松山間ノ鐵道完成後ニ於キマシ
テ、九州方面ノ連絡ニ於キマシテ、非常ニ重大ナル意義ヲ
有テ居ル線デアリマス、決シテ一部地方線デハナクシテ、
四國ニ於ケル國有鐵道上、重大ナル意義ヲ有スル線デアリ
マス、此鐵道ニ就キマシテハ、豫テ請願其他ニ於キマシテ、
本議場ニ於キマシテ御贊成ヲ得テ線デアリマスカラシテ、委

細ハ委員付託後ニ於テ、委員會ニ於テ申上ゲマスカラシテ
ドウカ滿堂此案ニ贊成サレテ、一日モ早く此短ク而モ重大
ナル意義ヲ有スル本線完成ヲ、政府ニ向テ希望スル次第
デアリマス
○岩崎勳君 本案ハ先ノ日程第十二、即チ原田佐之治
君外十九名提出ノ四國循環鐵道完成ニ關スル建議案ノ
委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマ
セヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(粕谷義三君) 御異議ナケレバ岩崎君ノ動議
ノ如ク決シマス、次ハ日程第十四、遠信鐵道速成ニ關スル
建議案ヲ議題ト致シマス、提出者北井波治目君
第十四 遠信鐵道速成ニ關スル建議案
(北井波治目君提出)
遠信鐵道速成ニ關スル建議案
遠信鐵道速成ニ關スル建議
政府ハ東海道線濱松市若ハ中泉町ヨリ天龍川沿岸ヲ
遡リ中央線辰野ニ至ル百一哩ノ鐵道敷設ヲ速成スヘ
シ
右建議ス
〔北井波治目君登壇、拍手起ル〕
○北井波治目君 遠信鐵道速成ニ關スル建議案ノ趣旨
ト理由ヲ、簡單ニ說明致シマス、此趣旨ハ、靜岡縣下東海道
ノ天龍川、東線デ申シマス中泉町、西線デ申シマス濱
松市、孰レカノ驛ヲ一ツノ起點ト致シマシテ、天龍川ノ沿岸ヲ
溯リマシテ、信州ノ中央線ノ辰野驛ニ至リマス、所ノ、百一
哩ノ鐵道ノ敷設ヲ速ニシテ貫ヒタイト云フノガ要旨デアリ
マス、此線路ハ遠信兩國ニ跨ル所ノ重要ナモノダト思ヒマ
スノデ、此遠州ノ北部、信州ノ一部ノ此山間ハ、地形カラ見
マシテ洵ニ開ケタ所デアリマシテ、我國ニ於キマシテモ他
ニ比較スベキ土地ハ、少イ位デアリマス、濱松カラ一俣ト申
シマス所、約五里是ハ、輕便鐵道ガ一寸ゴザイマス、ソレカラ
二俣ヨリ天龍川ヲ溯ルコト約二十里、信州界ニ至ル間ハ、
何等ノ交通機關モ無イノデゴザイマス、車道モ無イ、車道モ
無クシテ、今日昔ノ如ク草鞋掛テ行クデアリマス、ソレカラ
此信州ノ境ニ入りマシテ、向ホ辰野驛ニ至リマス、マデノ
間ノ二十何里モ亦同様、僅ニ伊那輕便鐵道ト云フ、輸送
力ノ鈍イモノガ、一ツアルガケデアリマス、斯ノ如ク交通ガ開
クヌニ拘ラズ、兩國ノ間ニ於ケル產物ハ、甚ダ豐富ナモノデ
アリマス、舉ゲテ見マスレバ、日ク礦物有名ナル所ノ古河、久
原、或ハ高田等ノ商會ノ經營ガ澤山アリマス、或ハ製絲會
社、又製茶、製紙、殊ニ森林ガ豐富デアリマス、兩岸ニ於ケル

所ノモノハ何處ヲ以テ算スル所ノ森林デアリマス、産物ガ
斯クノ如クデゴザイマスルノ、交通ガ開ケヌ爲メニ、今日ト
雖モ之ヲ十分ニ利用スルコトガ出来ヌト云フ、悲ムベキ状
態ニナリテ居リマス、本員ハ昨年八月技師ヲ伴ヒマシテ、此
天龍川ヲ溯リマシテ、信州境マデ参リマシタガ、此河ノ行程
ハ、技師ノ言フ所デハ、洵ニ工合好クテ、ドウシテモ國トシテ
敷設スベキモノデアラル、今日マデ放任シテ居ルノハドウ云フ
モノダラウ、多分斯ウ云フ山ノ中カラ、外ノ人ガ見ル機會
ガ無カッタラウト云フ、河ノ行程ト云フモノハ、鐵道ヲ敷
クノ二工合宜ク出来テ居ル、随分山間絶崖デゴザイマ
スカラ、費用ハ相當ニ掛リマスガ、亦驚クベキ程ノモノデモ
ナリ、ソレニ就テハ調ベタモノモアリマスカラ、何レ委員付託
ナリマスレバ、詳シク申上ゲマスガ、斯ル次第デアリマスカラ、
政府ニ於テモ此事ハ、既ニ第二ノ計畫トシテ此鐵道敷
設ノ方針ヲ執リテ居リマシテ、所謂鐵道網ノ中ニ加ハテ居
リマス、併ナガラ御承知ノ如ク、物資缺乏等ノ爲メニ開墾
獎勵ヲシ、或ハ近クハ官行ノ林野ノ法案ノ如キモノガ出テ、
政府ハ銳意殖産産業ニ就テ補助獎勵モシテ居ル次第
デアリマスレバ、若シ此鐵道ガ敷ケレバ、遠信兩國ニ於ケル豊
富ナル所ノ産物ヲ輸出スルコトガ出来ルノデアリマシテ、殊
ニ森林ノ如キハ無盡藏ト云フモノ宜イ、以テ今日ノ木材ノ
調節ニモナルモノデゴザイマスカラ、ドウシテ十年二十年ノ如
キ長キ計畫ヲナクテ、速ニ此計畫ヲ立テ敷イテ貫ヒタイト
云フノガ、本案ノ趣旨デアリマス、ドウシテ御賛成アラントラ
願ヒマス

○樋口秀雄君 提案者ニ質問ガアリマス、唯今北井君カ
ラ、遠信鐵道速成ニ關スル建議案ガ出マシテ、其御説明ノ
中ニ、是ハ鐵道網中ニ入テ居ルト云フ御話デアリマス、然
ルニ鐵道網ニ入テ居リマスノハ、既ニ中央線ノ出來マスル
當時カラ問題ニナリテ居リマス、信參鐵道ト云フノデアリマ
スサウシテ此春四十二議會ニ於テ、北井君カラ信參鐵道
速成ノ建議案ヲ出シタカラ、賛成セスカト云フ御勸誘ニ
與テ、早速承諾ヲ致シ、又此議會ノ初メニモ再ビ御提出
ニナルナラバ、一緒ニヤラウト云フコトヲ申シタ、然ルニ突如
トシテ遠信ト云フ名前ニ變更サレテ、鐵道網ニ入テ居ルト
云フノデアリマス、豫テ入テ居リマスル信參鐵道ヲ止メテ
シマテ、新テ北井案トモ申シマスガ、昨年八月技師ト御
踏査ニナリテ點ヲ主張ナサルヤウナ形ニ見エ、併ナガラ鐵
道網ニ既ニ入テ居ル、信參鐵道ヲ變シテ、新ナル鐵道ニ
御變更ニナリテ理由如何ト云フノガ質問ノ一ツデアリマス、
モウ一ツハ信參鐵道ヲ提ゲテ、地方問題デアリマスガ、國
家ノ爲メ極メテ必要ナル日本ノ中央部ヲ横斷シマス所ノ、
最モ必要ナル鐵道デアリマスカラ、國家的ノ問題トシテ吾

吾モ其速成ヲ希望シ、共ニ盡力致シテ、地方民等ニ對シテ
モ、此鐵道敷設ノ便宜ヲ與ヘタイト思フデアリマスガ、唯
今ノヤウニ信參鐵道ヲ御止メニナリテ、此一個ノ案ガ突然
出マスト云フコトハ、ドウ云フ意味ダカラナクナリテ、私共
ハサウ云フコトハ信シマスガ、兎ニ角鐵道ノ黨勢擴張ニ
利用スル云々ト云フ世間ノ……(ノウ)ト呼フ者アリ)ガ
アルノデ、斯様ナ方法ヲ執ラレタ理由如何、此二通りヲ伺
テ置キマス(甚奇體ナ話ト呼フ者アリ)

○北井波治目君 樋口君ニ前議會デ御相談申シタノハ、
矢張遠信鐵道デアリマシテ、信參鐵道デハナイ、本員ハ遠
州磐田郡天龍川沿岸ノ生デアリマシテ、三州ノ鐵道ヲ主
張スル理由ハ無イノデアリマス、其次ニハ樋口君ノ言ハレル
鐵道網ノ中ニ、濱松ヲ起點トシテ、天龍川ヲ遡テ辰野驛
ト云フ所マデ鐵道網ガチャントアリマス、是ハ間違アリマセ
ヌ、其他ニ於テ、自分ハ何等說ヲ變ヘタコトハ無イノデア
リマス、唯ダ樋口君トハ食堂其他ノ立話デアッテ、御相談シ
タコトハ無イノデアリマス、御答申シテ置キマス

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付
託セラレシコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○中野寅吉君 今ノ提案者ニ質問ガアリマス

〔モウ委員付託ニナリテ〕ト呼フ者アリ

○岩崎勳君 委員付託ノ採決ヲ願ヒマス

○副議長(粕谷義三君) 委員付託ニ就テ、岩崎君ノ動
議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ガ無ケレバ動議ノ如ク
決定致シマス、次ハ日程第十五、上總湊驛ヨリ鴨川町
ニ至ル鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、提出
者竹澤太一君

第十五 上總湊驛ヨリ鴨川町ニ至ル鐵道 建設ニ關スル建議案(竹澤太一 君外三名提出)

上總湊驛ヨリ鴨川町ニ至ル鐵道建設ニ關スル建議
案

上總湊驛ヨリ鴨川町ニ至ル鐵道建設ニ關スル建議
案

上總湊驛ヨリ鴨川町ニ至ル鐵道建設ニ關スル建議
案

上總湊驛ヨリ鴨川町ニ至ル鐵道建設ニ關スル建議
案

上總湊驛ヨリ鴨川町ニ至ル鐵道建設ニ關スル建議
案

スル處少カラス政府ニ於テモ夙ニ鐵道網中ニ加ヘ居ル
重要ノ線路ナリ依テ政府ハ速ニ右鐵道敷設ノ計畫ニ著
手セラレムコトヲ望ム

〔竹澤太一君登壇、拍手起ル〕

○竹澤太一君 本員ハ議題ノ建議案ヲ、鈴木隆君、西川
嘉門君及吉植庄一郎君ノ三名ト共ニ提出致シマシタ、簡
單ニ是ガ説明ヲ致シマス、此線路ハ兩國ニ起リマシテ、現
在ノ即チ房總線デアリマスガ、千葉木更津及問題ノ上總
湊驛ヲ經マシテ、北條ニマデ通シテ居リマスルガ、其先キ即
チ北條ヨリ海岸ヲ迂迴致シマシテ、上總ノ勝浦ニ至ラ、既
成ノ房總線ト連絡致シマス線デアリマスガ、其現在既成ノ上
總湊ト申ス驛カラ致シマシテ分岐シマシテ、唯今申シマシ
迂迴ノ未成線ノ太平洋海岸ニ於テ、鴨川町ニ於テ連結致
シマスル分岐點デアリマス、是ハ上總湊カラ致シマシテ、東
南ニ房總半島ヲ横斷致シマシテ、約十八哩ノ鐵道デアリマ
ス、此完成ノ曉ニハ、沿道ノ大凡五万町歩ニ互リマスル民
有林、又一万七千餘町歩ニ互リマスル官有林ノ物産ヲ収
容スルコトガ出来マシテ、殊ニ安房ノ太平洋ニ面シマシタ
海岸ノ、大凡十里ニ互ル十四箇ノ町村ノ生魚ノ運搬ニ資
スルコトハ、多大ノモノガアルト存ジマス、其外安房ハ御承
知ノ通り、牧畜殊ニ牛ノ改良蕃殖ノ盛ナコトニ至ラ、殆
ド全國其右ニ出ルモノハ無イノデアリマス、北海道ハ牧畜
甚ダ盛ナリト申シマスルガ、大正七年ノ北海道ニ於ケル牛
乳ノ産額ガ、一日二百石ヲ超エタカッタデアリマスガ、
安房ニ至リマシテハ一日百四十石ノ產出ヲ有テ居リマス、
斯ノ如クニシテ安房ト云ヘバ、直チニ一衣帶水目睫ノ間ニ
見エル安房ト上總ノ山デアリマスガ、斯ノ如キ偉大ナル富
源ヲ有テ居リナガラ、之ヲ運搬スルノ道ノ便利ヲ缺イテ居
ルト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ存ジマスルガ故ニ、茲ニ建議ヲ
致シマシタ次第デアリマス、ドウシテ御贊成ヲ得マシ
テ、速ニ目的ヲ達スルコトヲ希望致シマス

○岩崎勳君 本案ハ政府提出、成田鐵道及中越鐵道買
收ニ關スル法律案ノ委員ニ、併セテ付託セラレシコトヲ望
ミマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマ
セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ガ無ケレバ動議ノ如ク
決定シマス、次ハ日程第十六、因美鐵道支線敷設ニ關
スル建議案ヲ議題ニ供シマス、提出者清瀨規矩雄君

第十六 因美鐵道支線敷設ニ關スル建議案

〔清瀨規矩雄君外二名提出〕

因美鐵道支線敷設ニ關スル建議案

一 因美線郡家驛ヨリ鳥取縣八頭郡若櫻町ニ至ル輕便鐵道

右ハ鳥取縣八頭郡八東川流域ニ於ケル町村數九人口約二萬五千ヲ算シ廣大無限ノ大森林ヲ包藏シ林產物農產物礦產物等資供給力豐富ナル地方ノ發展ト交通ノ利便ヲ圖ル上ニ於テ緊切急要ナル線路ナリト認ム依テ政府ハ速ニ本支線ヲ敷設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔清瀨規矩雄君登壇、拍手〕

○清瀨規矩雄君 本案提出者ノ一人ト致シマシテ簡單ニ提出ノ理由ヲ申述ベマス、本案ハ因美鐵道郡家驛カラ鳥取縣若櫻町ニ參リマスル、約十哩ノ輕便鐵道支線ヲ敷設致シテ貫ヒタイト云フ案デアリマス、同地方ハ林產物礦產物、農產物、頗ル豐富デアリマシテ、此鐵道ノ敷設ニ依リマシテ、産業ノ發達、並ニ文化ノ進歩ニ裨益スルコトガ多大ナルト思ヒマス、ドウカ滿場一致ノ御賛成ヲ得テ、本鐵道ヲ速ニ敷設ルヤウニ致シタイト思ヒマス、諸君、御賛成ヲ仰ギマス〔拍手〕

○岩崎崎君 本案ハ永屋茂君外三名提出ノ、福山三次間輕便鐵道速成ニ關スル建議案外一件ノ委員ニ、併セテ付託セラレムコトヲ望ミマス

○副議長〔粕谷義三君〕 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長〔粕谷義三君〕 御異議ナケレバ、動議ノ如ク決定致シマス、次ノ日程第十七ハ、提出者ガ唯今此席ニ御在デニナリテ居リマセヌカラ延期ヲ致シタイト思ヒマス、又日程第十八ハ、提出者ヨリ延期ノ申出ガザリマスカラ、是モ延期致シタイト思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長〔粕谷義三君〕 御異議ガナケレバ、兩案共延期ニ決シマス、次ハ日程第十九、石油政策樹立並國內油田ノ開發ニ關スル建議案、提出者坂本素魯君ノ説明ヲ求メマス

第十九 石油政策樹立並國內油田ノ開發

ニ關スル建議案〔坂本素魯君登壇〕

石油政策樹立並國內油田ノ開發ニ關スル建議案

石油政策樹立並國內油田ノ開發ニ關スル建議案

政府ハ内外ノ情勢ニ鑑ミ、速ニ内地油田ノ開發ヲ爲スト俱ニ確固タル石油政策ヲ樹立シ平時ハ工業ノ發展ニ資シ一朝有事ノ際ハ海陸軍ノ活動ニ遺憾ナカラシムコトヲ望ム

右建議ス

〔坂本素魯君登壇、拍手〕

○坂本素魯君 石油政策ノ樹立、並油田ノ開發ニ關スル建議案ヲ提出シタノデアリマス、諸君、國防上軍備ノ擴張、就中海軍ノ充實ト云フコトニ就キマシテハ、我國今日ノ狀態ニ於キマシテ最大急務デアルト云フコトハ、私ノ申スマデモナイノデアリマス、本議會ニ於キマシテ増稅案ヲ通過セシメ、又繼續ノ費用ト致シマシテ、此ハ八艦隊ノ完成ヲ期スルガ爲メニ、諸君ハ既ニ八億五千萬圓ノ歳出ニ對シテ、協賛ヲ與ヘテ居ルノデアリマセヌカ、〔誰ニ言フノダ〕ト呼フ者アリ、此協賛ヲ與ヘテ居リマスルト云フコトニ就テ、私ハ此海軍ノ擴張ニハ、大ナル賛成ヲ表シテ居ルノデアリ、併シ私ガ此海軍ノ擴張ニ對シテ、此海軍ノ擴張ニ伴フ所ノ即チ艦船ノ燃料、重油ノ補給ト云フコトヲ如何ニスベキカト云フコトノ問題デアアルノデアリマス、私ハ之ヲ即チ政府ノ當局者ニ問ハントスルノデアリ、諸君モ御承知ノ通り、大正八年ニ於キマシテハ、我國ノ石油ト云フモノハ、產出額ハ僅ニ三十萬噸シカ無イノデアリマス、ソレ以前ニハ少シ餘計アタクシモアリマスガ、最近ニ於テハ、三十萬噸ニ過ギナイ、而シテ若シモ是ヨリ重油ヲ精製致シマシテ、全部海軍ノ使用ニ供シマスルナラバ、我工業ノ上ニ於キマシテ、工業ノ發達ニ於キマシテ、大ナル所ノ打撃ガアリマスルガ故ニ當局者ハ此我國ノ產出ノ額ヲ消費スルコトナクシテ、年々此重油ト云フモノヲ彼ノ「ボルネオ」ヨリ買テ居ルト云フコトハ諸君ノ御承知ノ通りデアアル、而シテ此世界ノ大戰以後ニ於キマシテ、其供給ヲ政府ハ何處ニ求メルカ、政府ハ亞米利加ニ交渉中ト云フコトデアアル、果シテ此亞米利加ガ此交渉ニ應ズルヤ否ヤ、又應ズルト致シマシテモ、一旦應ジマシタ所ガ、之ヲ永續スルヤ否ヤト云フコトハ、大ナル私ハ疑問デアアル、ハ私ハ大ニ研究シナケレバナラヌ所ノ問題デアルト思フノデアリマス、諸君モ御承知ノ通り、此世界ノ大戰ニ於キマシテ、石油ノ供給ガ缺乏ノ爲メニ、海軍ハ申スニ及バズ陸軍ニ於テモ、或ハ自動車、運送車、又ハ斯ウ云フ自動車、運送車ノ活動力ヲ殺ギ、戰爭ニ對シテハ或ハ彈藥、又ハ食糧等、其他總テノ後方勤務ニハ、大ナル支障ヲ來シテ居ルノデアリマセヌカ、〔ヒヤ〕ト呼フ者アリ、就キマシテハ、加ノ戰爭中ニ於キマシテ、英露、又伊太利、亞米利加、デハ、此輸送問題、石油ノ問題ニ就テハ、常ニ會議ヲ開キマシテ、石油ノ會議ヲ常ニ戰爭中ニ開イテ、辛ウジテ此難ヲ

免レテ居ルト云フコトハ明カナル所ノ證據デアアル、斯ノ如キ苦キ經驗ヲ嘗メマシタルガ故ニ、米國ニ於テハ一日モ此產額ノ多カラシコトヲ望ミマシテ、早カラシコトヲ望ミマシテ、全力ヲ石油ノ產出ニ努メテ居ルト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアアル、既ニ大正八年中ニ於テ、亞米利加ハ六十四億幾千萬ノ新シキ資本ヲ投ジテ居ルノデアリマス、之ニ戰前ノ資本ヲ合スルナラバ、約百二十億ノ資本ヲ投ジテ居ルコトナル、而シテ此產出額ト云フモノハ、世界ノ總產額ノ約七割、三億五千萬石ノ產出ヲシテ居ルノデアリ、併ナガラ此三億五千萬石ノ產出ガ亞米利加ニアルニモ拘ラズ、亞米利加ノ工業ノ旺盛ナル爲メニ、非常ニ不足ヲ來シマシテ、亞米利加ニハ更ニ墨西哥ヨリ約五千萬石ヲ供給致シテ居ルノデアアル、補給致シテ居ルノデアアル、ニナラズ政府ハ更ニ「スタンダード」會社ヲシマシテ、墨西哥ハ勿論、或ハ「ガリシヤ」ヤ、或ハ蘭領印度、羅馬尼亞等ニ資本ヲ投ジテ居ルノ「ナラズ」著々石油政策ニハ成功致シマシテ世界ノ最モ必要ナル所ノ航路ノ要所々々ニハ、石油ノ供給所ヲ建設致シテ居ルノデアアル、其目的ハ私ガ言ハストモ分ッテ居ル、即チ一舉ニシテ英國ニ代リマシテ、海上ノ優越權ヲ得ントシテ居ルノデアリマス、ソレナラバ英國ハドウデアアルカト申シマスレバ、英國モ亦石油政策ヲ確立致シマシテ、石油產額ノ高ハ一國ノ盛衰ニ關スル所ノ重大ノ問題デアアルトシテ千九百七年以來、自分ノ國ノ會社ヲシテ、他ノ國ノ會社ト合併セシメ、或ハ他ノ國ノ會社ヲ買收シ、又ハ大ナル所ノ會社ヲ興シマシテ、政府自ラ其株式ノ半額ヲ持ツト云フヤウナ政策ヲ行ッテ居ルノデアアル、又ソレノ「ナラズ」、自分ノ國デアリマセヌカ故ニ、遠ク米國マデ侵入ヲ致シテ居ルノデアアル、米國ニ侵入ヲ致シテ、此石油ノ產出ニ對シテ大ニ經營ヲ致シテ居ルノデアアル、又更ニ最近ニ於テハ、一千万圓ノ金ヲ投ジテ、大ニ石油ノ事ニ就テ獎勵ヲ致シテ居ルノデアアル、又最モ最近ノ所ニ於キマシテ、英國ノ海軍大臣ハ、此石油ニ對シテ何ト云フテ居ルノデアリマスカ、ソレヲ一言私ハ此處デ申シマスルナラバ、斯ウ言ッテ居ル「吾人ハ今ヤ莫大ノ好機會ヲ捉ヘントシテ已ニ其入口ニ來レリ英國國民ハ進ンデ其堂ニ入ラザルベカラズ、然ラズンバ他國國民ハ之ヲ占ムベシ蓋シ將來國民ノ成功ハ一ニ繫グテ此堂ニ入ルト否トニ依リテ決セラルベナリ若シ吾人ガ世界ニ於ケル石油ノ供給ヲ確保セバ吾人ガ爲ス所ニシテ就ラザル莫シ」如何デアリマスルカ、此石油ノ供給ヲ確保シタラバ、吾人ノ爲ス所ニシテ、必ズ就ラザルナシト云フコトハ、其裏面ニ於テハ、非常ニ意味深長ナル所ノモノガアルト私ハ信ジテ居ル、非常ニ然ルニ斯ノ如ク英米ノ石油ノ戰爭ハ、戰後ニ於ケル所ノ平和ノ戰爭トシテ、最モ激烈ヲ極メテ居ルノデアリマス、吾人英米ニ止ラズ、佛蘭西、伊太利ノ如キモ、既ニ官營トシテ大ニ

攻究ヲ致シテ居ルノデアル、斯ノ如ク世界ハ何レモ石油政策即チ石油ノ自給策ト云フモノヲ確定シテ居ルデハアリマセヌカ、然レニ之ニ反シテ我國ハドウデアアルカ、我國ノ石油鑛區ハ十二億五千万坪アルノデアアル、而シテ其中採掘シテ居ルモノ約五千万坪デアアル、サウシテ之ニ對スル所ノ資本ガ八千何百万圓デアリマスガ其拂込ノ資本ハ僅ニ六千万圓ニ過ギナイデアアル、サウシテ年々出來ル所ノモノハ二百万石内外デアリマシテ、僅ニ亞米利加ノ二日分ノ產出額ダ、日本ノ一箇年ノ產出ト同一デアルト云フコトデアリマス、此ヲ思ヒ彼ヲ顧ミマシタナラバ、諸君ハ必ズ寒心ニ堪ヘヌコトデアラウト思フノデアアル、サウシテ日本ノ此石油ノ需要ハドウデアアルカト申シマシタナラバ、私が申スマデモナク、自動車ノ増加、航空機ナリ或ハ軍用車、或ハ潜航艇、或ハ軍艦、ソレノミナラズ一般ノ工業ノ發展ニ伴ヒマシテ、其需要ト云フモノハ、年々増加シテ居ルニ拘リマセズ、斯ノ如キ所ノ有様デアリマシタナラバ、如何デアリマセウカ、平時ニ於テサヘモ、日本ノ需要ノ半額ニ相達シナイ、若シモ是ガ八八艦隊ガ完成シタル曉ハ、如何ナル需要ガアリマセウカ、其時分ニ何處ノ國ヨリ之ヲ供給スルノデアアルカ、又平時ハ免モ角ト致シテ、一旦其國家ニ事アツタ時ハ、此八八艦隊ヲ如何ニシテ運用スルノデアリマセウカ、是ガ私が政府ニ問ハントスル所ノ大眼目デアアル、今回ノ豫算ニ見マシテ、農商務省ノ項ニ於テ、僅ニ礦物ノ調査費トシテ、五万圓足ラズノ費ヲ計上シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ微々タル經費デハ此目的ヲ達スルコトハ出來ヌト信ズルノデアリマス、唯今申上ゲマシタ通り、八億五千万圓ノ巨費ヲ投ジテ、八八艦隊ノ完成ヲ期シタル曉ニ於テ、石油ガ斯ノ如キ狀況デアッタナラバ、我國ハ如何ナル状態ニ陥ルコト云フコトハ、私ガ喋々セズトモ明カナ事デアアル、是ガ私が大ニ政府ニ問ハントスル所ノモノデアリマス、故ニ私ハ僅ニ二十万圓、八万圓、五万圓ト云フガ如キ輕微ナル調査費デハ駄目デアアル、此八八艦隊ノ完成ヲシテ意義アラシメルニハ、少クトモ立派ナル所ノ意義アル政策ヲ立テナケレバナラズガ爲メニ、金ヲ惜ムコトナク、更ニ一層ノ努力ヲ致シテ、大ナル豫算ヲ計上サレマシテ、國家百年ノ基ヲ立テナケレバナラズト思フノデアアル、之ヲ要シマスルニ、我日本ノ産額ト云フモノハ、僅ニ二百万石デアアル、亞米利加ノ二日分デアアル、平素ノ需要テサヘモ半額ニ足ラナイ、八八艦隊ガ出來タナラバ、確ニ私ハ「簡單」ト呼ブ者アリ、一箇月ニ五万石費ルト云フコトヲ聞イテ居ル、サウスレナラバ艦隊ガ出來マシテ、時ニハ、既ニ足ラナイノミナラズ、一朝國家ニ重大問題ガ起リタル時分ニハ、由々シキ大事デアリマスルガ故ニ、私ハ内外ノ狀態ニ鑑ミテ、政府ニ諸君ガ即チ五億八千万圓ニ對シテ、協賛ヲ與ヘタル所ノ意義ヲ空シカラシメガ爲メニ、國家有事ノ際ニ方リ

マシテ過ナカラシコトヲ、私ハ切ニ希望致シマスルガ爲メニ茲ニ本案ヲ提出スル所以デアリマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマシテ、動議ノ如ク決シマス、次ハ日程第二十、帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、提出者ノ説明ヲ求メマフ

第二十 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案(八田宗吉君外二名提出)

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

政府ハ帝國軍人ノ大部分ヲ占ムル在郷軍人ノ團體タル帝國在郷軍人會ニ對シテ毎年相當ノ補助金ヲ交付シ以テ國防ノ根本義ニ基キ良兵良民主義ノ徹底ヲ理想トスル同團體ノ健全ナル發達ヲ促進セラレムコトヲ望ム

右建議ス

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案理由書

本案提出ハ本文ニ明ナルヲ以テ茲ニ贅セス

○副議長(粕谷義三君) 八田宗吉君

〔延期ヲ願ヒマス〕「居リマセヌ」ト呼ブ者アリ

○石川玄三君 八田君ガ居リマセヌカヲ、提出者ノ一人トシテ私カラ説明ヲ致シマス

○副議長(粕谷義三君) 石川玄三君

○石川玄三君 在郷軍人會ハ、我國ノ軍隊ガ壯丁ヲ教養シテ、天晴一人前ノ軍人トシテ者ヲ、年々多數郷里ヘ送り還シマス、此多數ノ者ヲ收容シテ其品位ヲ損セシメザルヤウ、益之ヲ練磨向上セシメ、平時ニ在リテハ良兵卒良民タルノ實ヲ現ハシ、朝野アルノ時ハ直チニ召ニ應ジテ、君國ノ爲メニ進シテ犧牲ヲ拂フ精神ノ勝リ定メシメル、重要ナ機關デアアルコトハ國民ノ齊シク認ムル所デアリマス、然レニ此階級ニ屬スル者ハ、既往ヨリ見ミシモノ、現在ノ状態ヲ見マシテモ、國民ノ中セバ、多クハ財產ノ少イ者ノ方ノ子弟ガ多イ、露骨ニ申セバ、貧乏人ノ子弟ガ多イノデアアル、我國ノ現狀デハ、貴族若クハ富豪ノ子弟ハ、身體虛弱ニシテ、困苦缺乏ニ堪ユルノ素質ニ乏シク、國家ノ干城タルニハ適當シナイト云フコトガ多イト云フ事モ是亦爭フヘカザル事實デアリマス、然ラバ則チ貧乏ナル階級ニ屬スル者ニ、斯ノ如キ重要

ナル仕事ヲ、是マデ一定ノ年限現役ニ服シ、或ハ、實戰ニ從事シテ血稅ヲ拂ツ者ニ、多クノ手間ヲ費サシムルノミナラズ、金マテ持出シテヤレト云フコトハ、是レ難キヲ強ユルモノデアリマス、併ナガラソコガ軍人氣質ノ尊ブベキ所是マデ一人ノ不平ヲ言フ者ナク、何トカシテ其任務ヲ成功セシムルメニ、種々苦心ヲシテ居リマス、或ハ自治團ノ補助ヲ仰ギ、或ハ有志ノ寄附ヲ勸誘シ、若クハ營利ノ事業ヲ經營スル者モアリマス、併ナガラ是等仕事ニハ、多クハ軍人界ノ精神ヲ毀損セシムル弊害ガ伴フデアリマス、軍人界トシテハ、餘リ好マシイ事デアアリマセヌ、然ラバ則チ國家ガ其儘放任ヲシテ置キマスレバ、此重要ナル機關ヲ、組織シテ居ル軍人ヲ皆ナ見殺シニスルコトニナルノデ、此點ニ就キマシテハ、政府當局者就中軍事當局者ニハ、多大ノ考慮ヲ拂ハレテ居ルト云フコトヲ漏開イテ居リマスガ、未ダ是ガ現實トナッテアリマセヌ、此際百尺竿頭一步ヲ進メテ直チニ此建議案ヲ御容レニナッテ豫算ヲ組ンデ此實效ヲ舉ゲ、我國軍備ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルヤウ、御盡瘁ヲランコトヲ希望センツガ爲メニ、此案ヲ提出シマシタ次第デアリマス

○岩崎勳君 本案ハ荒川五郎君外三名、提出非役壯丁稅法案外一件ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナケレバ動議ノ如ク決シマス、次ハ日程第二十一、燃料調査會設立ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者ノ説明ヲ求メマス、高野毅君

第二十一 燃料調査會設立ニ關スル建議案(高野毅君提出)

燃料調査會設立ニ關スル建議案

燃料調査會設立ニ關スル建議案

政府ハ燃料問題ニ就テ慎重ニ事ノ利害得失ヲ攻究シ最適當ナル燃料政策ヲ確立スル爲メ新ニ權威アル調査機關ヲ設ケ關係各省及斯道專門ノ實際家ヲ委員トシテ内地油業ノ保護獎勵ヲ圖リ進ムテ外國油田ノ獲得ヲ計畫シ更ニ代用品ノ探究、燃料自給ノ方法等ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○高野毅君 諸君私ハ此燃料調査會設立ニ關スル建議案ニ就テ、一言申シタト思ヒマス、近來此燃料調査會ト云フモノハ、能ク外國ニ出來テ居リマスガ、我國ニ於キマシテハ、此燃料ノ研究所ト云フモノヲ農商務省内ニ設ケラレ

テアル、ソレト少シク私ノ提案ハ、趣ヲ異ニシテ居ルヤウナク次第アルノデアリマス、燃料ト申シマスト非常ニ區域ハ廣イ、廣イト云フコトハ、或ル意味ニ於テ石油政策ハ、ハ世界ニ於ケル非常ニ注目サレル問題デアリ、如何トナレバ各國ガ石油ト云フモノニ就テ、非常ニ注意ヲ拂テ居ル、之ヲ取ルト云フコトニハ手段ヲ擇バザル程、劇烈ニ競争サレテ居ル、其ノ一端ハ先程坂本君ヨリ申述セラレマシタ、之ヲ私トシテハ、本君ト重複ニナル部分ダケヲ省キマス、之ヲ私トシテハ、寧ロ石油政策ヲ燃料政策トシタ方ガ穩當ト認メル爲メニ、燃料調査會ト云フ名稱ヲ付シタ次第ゴザイマス、此石油ト云フモノハ、非常ニ今日デハ貴イ物ニナテ來タ、所謂價值ノアル物ニナテ來タ、唯今ノ處デハ世界ニ二ツノ大キナ潮流ヲ以テ、之ヲ占有シヤウト云フコトニ取掛テ居ル、其一ハ英吉利、英吉利ト云フ國ハ御存ジノ通り、石油ハ全國ニ於テ一滴モ無イ、先般來石油ノ出サウナ井戸ヲ掘テ試掘シタト云フコトデアリマス、是モ問題ニナラヌヤウデアリマス、一滴ノ石油ノ無イ英吉利ガ、世界ノ產出ノ半以上ヲ持テ居ル、自分ノ勢力範圍ニシテ居ル、其英吉利ガ創メタト云フモノハ、千九百七年ニ自己ノ「ヒル」會社ト云フモノガ、蘭領印度ノ「ローヤル」會社ト云フモノト合併シテ、是ガ蘭領印度カラ波斯方面ニ非常ニ鑿井シマシテ、是ガ大成ヲ致シマシタ、其後段々英吉利ハ亞米利加カラ墨國、波斯、羅馬尼「バクター」、皆ナ自分ノ勢力範圍ニシマシテ、サウシテ先程坂本君ノ言タ外務大臣ノ言ノ如ク、此油ヲ得ルト否トハ、其國民ガ成功スルト成功セザルトニ歸スルモノデアリ、之ニ向テ又亞米利加ノ「スタンダード」ノ「一」是ハ亞米利加一番ノ石油會社、此「スタンダード」石油會社ノ取締役會長ガ、何ト云ハレテ居ルカト云フト、亞米利加デ言フニハ英吉利ニ於テ世界ノ石油ヲ自由ニスル國ガ「一」所統御スル國ガ貿易ヲ支配スルト云フコトヲ言フノハ、吾モモ知テ居ル、併シ我國國務省ニ於テ、石油ト云フ物ガ「一」程度マデ必要デアルカ、或ハ之ヲ以テ立國ノ基礎トスルカト云フコトヲ吾モモ知シタナラバ、亞米利加ノ金貨ヲ如何ナル遠方ノ土地ニマデ運シテモ、石油ト云フモノハ、位ニマデ言ハレテ居ル、而シテ我國ノ石油事業ハドウデアリカト云フト、世界ノ約二百分ノ一ヲ產出シテ居ル、世界ニ於テハ約四億二千萬石位ヲ產シテ居ル、我國ハ約百九十万石位ヲ產出デアリ、此產出ト云フモノノ年々減退ノ傾向ヲ持テ居ル、是ハ最モ憂フベキ事デアリ、而シテ我國ニ於テ工業ガ如何ナル状態ニ在ルカト云フト、實ニ我國ノ現在ノ狀況デアリナラバ、最モ悲觀セザルヲ得ザルモノデアリマス、ソレハ當業者モ餘程努力シテ居リマス、政府モ努力シテ居リマス、是ハ即チ海軍燃料ト云フモノノ度外ニシテマダ足リナイ、亞米利加カラ殆ト十分ノ三ハ輸

入致シテ居ル、亞米利加及英領「スマトラ」ノ方カラ輸入致シテ居ル、若シ我國ガ一朝有事有ルノ秋ニ際スレバ、満足ナル軍隊ノ行動ト云フモノハ出來ナイ、否ナ今日デモ既ニ出來ナイ、若シ亞米利加カラ取ルト云フ御話ハ、ハハ絶對ニ行カヌ、三千噸ノ船モ二、四年四回シカ取レナイカラ、ドウシテモ多ク、一箇年百五十萬噸以上ハドウシテモ要ル、是ハ最モ國家ノ獨立ニ關係スル事デアリマス、私トシテハ、今日マデ色々政府當局ニモ御話シマシタケレドモ、未ダ其如何ナル方法ニ依テ、此根本政策ヲ解決スルト云フ案ハ立テ居ラナイ、之ガ根本政策ヲ立ツルニハ、幾多ノ複雜ナル關係ヲ生ズル我國ノ今日ノ状態ヲ以テシマス、到底燃料關係ト云フコトハ、殆ト私トシテハ見込ガ付キマセヌヤウニ考ヘテ居リマス、ソレ故ニ外國ヘ手ヲ出サナケレバナラス、其何レノ外國ヘ手ヲ出スカト云フコトニ就テハ、是モ戰時中安全ニ輸入ノ出來ル部分ニ、手ヲ出サナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、ソレニ就テハ從來工業ノ關係ハ農商務省ノ管轄デアリマス、ソレカラ外國ノ事ニ就テハ、外務省ノ手ヲ經ナケレバナラス、且ツ此鑛業稅、凡テノ税金、外國ノ輸入稅ト云フモノニ關係シテハ、大藏省ノ支配シテ居ル、其一番澤山入用ナ場所ハ海軍省デアルト云フヤウナコト、此非常ナ困難ナ問題ニナテ居リマス、免ニ角權威アル調査機關ヲ設ケテ、サウシテ内地ノ鑛業ハ如何ニ之ヲ保護シ解決スルカ、外國ニ向テハ如何ナル方針ニ依テ之ニ進ムカト云フ、免ニ角權威アル調査機關ヲ設ケテ、此問題ノ根本策ヲ解決シタイト云フノガ、私ノ提案ノ理由デアリマス、ドウカ……

○岩崎勳君 本案ハ日程十九、坂本素魯君提出石油政策樹立並ニ國內油田ノ開發ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十二、五條新宮間鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、山口熊野君

和歌山縣東牟婁郡新宮町ニ至ル鐵道ヲ建設シ以テ產業ノ開發運輸交通ノ利便ヲ促進セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔山口熊野君登壇、拍手起ル〕

○山口熊野君 本案ハ玉置良直君ガ御缺席デアリマスカ、私ガ代テ簡單ニ其理由ヲ申述セマス、即チ五條カラ新宮ニ至ル鐵道ノ建設建議案デアリマス、是ハ和歌山縣ニ於キマシテハ、伊都郡ノ一部、サウシテ東牟婁郡ニ關係ヲシ、又奈良縣ニ於キマシテハ宇治吉野ニ關係シ、更ニ三重縣ノ南牟婁郡ニ關係シテ居ル鐵道デアリマシテ、其延長ハ七十哩デアリマス、御承知ノ如ク此鐵道ノ沿線ハ、所謂十津川ノ吉野ノ森林ニ最モ重キヲ爲シ、更ニ下リマシテハ、熊野川ノ兩岸ニ於ケル鑛物ノ豐富ナル所ノ點、是等ノ點ニ就キマシテハ、國防上ニ於キマシテモ、此紀南牟婁島ニ於テ、或場合ニ於ケル最モ敏速ナル用兵上ノ必要ヲ認メテ居ルト云フコトハ、先年來カラ此軍事當局者ニ於テ、此點ヲ現ニ調査セラレテ居ル所デアリマス、現ニ昨年十二月十五日ニ鐵道院カラ發行セラレマシタ鐵道網ニ於テモ、此線ハ明記シテアル線デアリマス、無論此地方ノ人々ガ、此線ノ建設ヲ最モ深ク希望シテ居ルコトハ遠イコトデアリマス、故ニ本員共ガ茲ニ此案ヲ提出致シマシテ、諸君ノ十分ナル御審議ノ上、政府ヲシテ速ニ此建設ノ手續ヲ運ブヤウニ願ヒタイト云フ、此趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、ドウゾ宜シク御願申シマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ日程第十一、即チ津野田是重君外十名提出、勢和鐵道速成ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議ガ無ケレハ動議ノ如ク決定致シマス、次ハ日程第二十三、島根斐伊川治水工事速成ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者ノ説明ヲ求メマス、原夫次郎君

第二十三 島根縣斐伊川治水工事速成ニ關スル建議案(原夫次郎君外五名提出)

島根縣斐伊川治水工事速成ニ關スル建議案

斐伊川ハ島根縣下數郡ニ互リ幾多ノ水流ヲ合セ鏡川郡ニ出テ然ル後自然ニ反セル迂回ヲ爲シテ宍道湖ニ注ク沿流一帶ノ耕地ハ河床ヨリ低キカ爲民舍ノ屋蓋堤防

ヨリ低下年々春秋二季ニ互リ堤塘ノ壞裂セザルコトナク人畜ノ傷害ト數萬町歩ノ耕地ノ荒廢實ニ名狀スヘカラス故ニ政府ハ速ニ意ヲ斐伊川ノ事ニ注キ實地調査ノ歩ヲ進メテ治水工事速成ノ舉ニ出テムコトヲ望ム

右建議ス

○原夫次郎君 本員ハ唯今議題トナリマシタ建議案ニ就テ其提案ノ理由ヲ開陳致シマス、此建議ニ係ル川ハ、彼ノ往古素盞鳴尊ガ其上流篠ノ川上ニ於テ、大蛇ヲ退治セラレト云フ遺跡ノ多イ川デアリマスルガ、其源ハ山陰山陽ノ分水嶺カラ、幾多ノ上流ヲ合セテ數十里ノ間流レ、テ、島根縣第一ノ曠野デアリマスル所ノ篠川郡ニ出ヅルニ及ビマシテ、殆ド其川幅百間ニモ近イ程大キナ川トナリマシテ、其川ノ流ハ常ニ滔々水ガ奔流致シマシテ、到底其川一本デハ流レ切レナイ所カラ、今ヨリ八十年許リ前ニ、即チ天保年間ニ此篠川郡カラ更ニ一流ヲ出シマシテ、岐レテ二流トナレ、水ヲ流シテ居ルデアリマスルガ、其一流ノモノガ最近ニ至リマシテ、更ニ幾多ノ分岐支流ヲ生ジマシテ、遂ニ五六流ノ川トナレ、夫道湖ニ注グ川デアリマス、斯ノ如キ此出雲國數郡ニ互リマシテ幾多ノ水流ヲ綜合シテ、或ハ山間或ハ耕地ノ間ヲ流レテ、蜿蜒夫道湖ニ注グ所ノ所カノ洪水ガアリマシテ、其洪水タルヤ大キイノナリマスルト云フト、人畜ノ死傷、數方町歩ノ田地ノ荒廢等ノ水害ガ類々トシテ起リマシテ、又其等ノ洪水ノ無イ場合ニ於キマシテモ、或ハ一少部分堤防ノ決潰ニ依リマシテ、遂ニ此河床ニ土砂ヲ流出致シマシテ、其附近ノ田地ヲ沙漠ノ如ク荒スノデアリマス、隨テ年々歳々此雨季ニ際シマシテハ其附近ノ住民ハ此洪水ノ爲メニ惱マサレテ、如何ニシタナラバ此避難ヲ爲スコトガ出來ヤウカト、戦々兢々トシテ日夜此事ニ苦心ヲ致スデアリマス、所デ斯ノ如キ洪水ガ、何故ニ此川ニ限レテ頻々起ルデアアルコト云フデアリマス、其先ゾニ、其理由ハ三四點主ナルモノガアルデアリマス、其先ゾ第一番ニハ、此大キナ川ノ水源地ニ當リマシテ、幾十箇所トナク砂鐵ヲ採取致シマス爲メニ、大キナ山ヲ崩シテ、其土砂ヲ流シ、此川ニ流スデアリマス、其爲メニ此河床ガ年々歳々高マテ參リマシテ、最近此五十年間ニ於キマシテ、驚クベシ一丈餘ノ土砂ガ此河床ニ積タラデアリマス、此一奉ヲ以テ致シマシテモ、斯ノ如キ常ニ水害ノアルコト云フコトヲ立證スルコトガ出來ルデアリマス、又當ニ此河床ヲ土砂ヲ以テ埋ムルコトハアリマス、斯ノ如キ河床ガ埋ムルダケニ、ソレダケ此河床並ニ其堤防ノ基礎ヲ危ウシテ居ル點デアリマス、少クトモ此堤防ニ於キマシテ、一丈以上ハ大概土砂ヲ以テ築カレテ居リマス爲メニ、此堤防ガ決潰ス

ルコトハ當然デアルト思フデアリマス、是ガ第二ノ立證ニナルデアリマス、尙又此河床ガ甚ダ不自然ノ流域ヲ爲シテ居ルデアリマス、尙又此河床ハ島根縣ノ曠原ヘ出ルニ當リマシテ、急ナル迂曲ヲ成シテ夫道湖ニ注イデ居ル點デアリマス、デアリマスルカラ、此迂曲ト以上申上ゲマシタヤウナ此土砂ノ關係トヲ持テマスレバ、必ズヤ茲ニ洪水ノ原因ヲ成サレテ得ナイデアリマス、是ガ第三點デアリマス、次ニ又御承知アラセラル、方モアリマセウガ、此川ノ注グ所ノ夫道湖ナル湖水ハ、頻リニ此川カラ流ス所ノ土砂ニ依リテ年々歳々非常ニ埋モテ參ルデアリマス、故ニ一旦雨季ニ際シテ此川カラ流出スル所ノ水ハ、能ク夫道湖ダケヲ以テシテハ包容シ切レナイデアリマス、デアリマス、一且此湖水ニ流レタル所ノ水ハ、更ニ此川ニ向テ逆流入ラヌルデアリマス、デアリマスルカラ、其一方ハ流レ、一方ハ逆流入スルコト云フ其戰ニ依リマシテ、常ニ沿岸ノ田地ハ水ニ浸サレルコトニナルデアリマス、其爲メニ適テ、遂ニ此堤防ガ段々ニ大キク決潰スルコト云フコトデアリマス、以上是等諸點ヲ以テ見マシテモ、如何ニ此地方ニ水害ガアルカト云フコトハ、思半バニ過グルコトデアラウト思フデアリマステデアリマス、本員ハ從來内務省ニ向ヒマシテ、常ニ是ガ改修工事ノコトヲヤカマシク申スデアリマス、内務省ニ於テモ、全國各地共色ノ箇所ガ多イ爲メニ、マダ十分ニ此點ニ向テ確信ヲ持テ居ナイヤウデアリマス、目下調査中デアリヤウデアリマス、併ナガラ本員等ノ見ル所ニ依リマスルト云フト、從來我全國——唯獨り島根縣ダケト云ハズ、全國各府縣ニ於キマシテ、何ガ最モ劣テ居ルカト申スナラバ、曰ク此土木治水事業デアルト思フデアリマス、此土木治水事業タルヤ、國家百年ノ大計デアリマシテ、地方官タルモノハ、必ズ思フ此致サナケレバナラズ事デアリニモ拘ラス、是等ノ根本政策ヲ遂行スルガ爲メニハ、中々ノ勞カト費用ヲ要スルガ爲メニ、各地方共何レモ或ハ學校ヲ建設スルトカ、或ハ耕地整理ヲスルトカ、或ハ其他ノ唯ダ目先ノ問題ダケニ汲々トシテ、國家百年ノ大計デアリ、地方開闢却セラレテ、アルノデアリマス(簡單々々ト呼ブ者アリ)故ニ本員ノ如キハ、是ハ當ニ島根縣ノ問題デナク、此治水問題ニ依テ、庶幾クバ内務省ニ於テ、大ニ努力ヲ願ヒタイト考ヘタ次第デアリマス、以上提案ノ理由ヲ開陳致シマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎勳君ノ動議ニ御異議アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナイモノト認メマス、動議ノ如ク決シマス

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、乃チ茲ニ政府提出貨幣法中改正法律案ヲ議題トシ、次ニ政府提出帝國大學特別會計法中改正法律案、大正八年法律第十二號中改正法律案、公立學校職員年功加俸國庫補助法案、明治二十九年法律第十三號中改正法律案ヲ一括議題ト爲シ、次ニ政府提出成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案ヲ議題ト爲シ、即チ第一讀會ノ續ヲ開キ、次ニ大正七年度豫備金支出ノ件、大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、大正七年度特別會計豫備金支出ノ件、大正七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、大正七年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件、大正七年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件、大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件、以上八件ノ承諾ヲ求ムルノ件ヲ議題ト爲シ、各委員長ノ報告ヲ求メ且ツ其審議ヲ進メラントラ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ日程變更ノ緊急動議ニハ御異議ハ無イヤウデアリマス、日程ハ變更セラレマシタ、即チ茲ニ貨幣法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長陣軍吉君

報告書

貨幣法中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

一貨幣法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日 貨幣法中改正法律案委員長 陣軍吉

衆議院議長與繁三郎殿

○陣軍吉君 貨幣法中改正法律案ノ委員會ニ於ケル經過並ニ其結果ヲ報告致シマス、本案ハ銀塊相場ニ依リマシテ、十錢銀貨幣ヲ廢止シ、十錢白銅貨並ニ五錢白銅ノ改正ヲ要スルト云フ案デアリマス、極メテ簡單ナル案デアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ、滿場一致可決致シタノデアリマス

ゴザイマス、此段報告致シマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ガナケレバ本案ハ讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレマシタ(拍手起ル)次ハ帝國大學特別會計法中改正法律案外三件、是ハ一括シテ委員ニ付託セラレマシタノデスカラ、此場合ニ於テモ亦一括シテ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 委員長坪田十郎君

帝國大學特別會計法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一帝國大學特別會計法中改正法律案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

衆議院議長奥繁三郎殿

帝國大學特別會計法中改正法律案委員長

坪田 十郎

大正八年法律第十二號中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一大正八年法律第十二號中改正法律案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

衆議院議長奥繁三郎殿

公立學校職員年功加俸國庫補助法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一公立學校職員年功加俸國庫補助法案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

衆議院議長奥繁三郎殿

公立學校職員年功加俸國庫補助法案委員長

坪田 十郎

明治二十九年法律第十三號中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一明治二十九年法律第十三號中改正法律案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

衆議院議長奥繁三郎殿

帝國大學特別會計法中改正法律案委員長

坪田 十郎

明治二十九年法律第十三號中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一公立學校職員年功加俸國庫補助法案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

○岩崎勳君 唯今上程ニ掛ル四案ヲ一括シテ、直チニ其第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ガ無ケレバ、岩崎君ノ動議ノ通り、直チニ第二讀會ヲ開キマス

帝國大學特別會計法中改正法律案

第二讀會(確定議)

大正八年法律第十二號中改正法律案

第二讀會(確定議)

公立學校職員年功加俸國庫補助法案

第二讀會(確定議)

明治二十九年法律第十三號中改正法律案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ガナケレバ第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレマシタ、次ハ成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告、委員長上埜安太郎君

成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

衆議院議長奥繁三郎殿

成田鐵道及中越鐵道買收ニ關スル法律案委員長

上埜安太郎

〔上埜安太郎君登壇、拍手起ル〕

○上埜安太郎君 諸君、成田鐵道及中越鐵道ノ買收ニ關スル法律案ノ委員會、概要ヲ御報告致シマス、本案ニ對シマシテハ、過日當局大臣ヨリ詳細ノ説明ガアリマシタ通り、成田鐵道ハ房總線ト常磐線ト聯絡致シマス、延長四十五哩八分ノ重要ナル幹線ナルデアリマス、又中越鐵道ハ伏木港ヲ中心ト致シマシテ、北海道樺太及北清浦湖方面等ノ水陸連絡ヲ計テ居リマス所、延長三十一哩ノ重要ナル鐵道デアリマス、之ヲ私設鐵道ニ委セテ置キマシテハ總テノ點ニ就キマシテ設備モ不完全デアリ、又産業發

達ノ上連絡上甚ダ遺憾ノ事ガ多イカラ、今回政府ニ於キマシテハ、兩鐵道ヲ買收シマシテ國有ニ移シ、旅客貨物運送ノ統一ヲ圖リマシテ、交通ノ便利ヲ企圖シタイト云フ趣意デアアルノデアリマシテ、委員會ハ三回開キマシテ、審議ノ未適當ナル提案ト認メマシテ、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ次第デゴザイマス、ドウソ本會ニ於キマシテモ、滿場一致可決アラソコトヲ望ミマス、尙ホ可決ニナリマシタ上ハ、一日モ早く買收ノ實行ヲシテ戴カケナレバ、從業員モ不安ノ念ヲ懷キ、又鐵道モ完全ヲ致シマセヌカラ、當業者ニ於キマシテハ、一日モ早く買收ノ實行ヲ致シテ呉レト云フ希望モアリマシタノデアリマス、其他南海鐵道、城東線等ニ就キマシテモ、質問應答等モアリマシタケレドモ、是ハ省キマスカラ、ドウソ速ニ就テ御覽ヲ願ヒマス

〔拍手起ル〕

○副議長(粕谷義三君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リヲ致シマス

〔第二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議ガ無ケレバ、第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○岩崎勳君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議ガ無ケレバ、直チニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

成田鐵道買收ニ關スル法律案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、即チ第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通リ可決確定セラレマシタ

〔拍手起ル〕

○副議長(粕谷義三君) 次ハ大正七年度豫備金支出ノ件外七件、承諾ヲ求ムル件ヲ議題ニ供シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長小山田信藏君

大正七年度豫備金支出ノ件(政府提出)

(承諾ヲ求ムル件)

報告書

一大正七年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

大正七年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)委員長

衆議院議長與繁三郎殿

小山田信藏

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出)

(承諾ヲ求ムル件)

一大正七年度豫算外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

大正七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)委員長

衆議院議長與繁三郎殿

小山田信藏

大正七年度特別會計豫備金支出ノ件(政府提出)

(承諾ヲ求ムル件)

一大正七年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

大正七年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)委員長

衆議院議長與繁三郎殿

小山田信藏

大正七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出)

(承諾ヲ求ムル件)

報告書

一大正七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

大正七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)委員長

衆議院議長與繁三郎殿

小山田信藏

大正七年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件(政府提出)

(承諾ヲ求ムル件)

一大正七年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

大正七年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)委員長

衆議院議長與繁三郎殿

小山田信藏

大正七年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件(政府提出)

(承諾ヲ求ムル件)

一大正七年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

大正七年度大正三年臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)委員長

衆議院議長與繁三郎殿

小山田信藏

大正七年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件(政府提出)(承諾ヲ求ムル件)

報告書

一大正七年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

大正七年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)委員長
小山田信藏

衆議院議長與繁三郎殿

大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(政府提出)(承諾ヲ求ムル件)

報告書

一大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十九日

大正七年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)委員長
小山田信藏

衆議院議長與繁三郎殿

小山田信藏君 唯今議題トナリマシタ、大正七年度豫備金支出ノ件外七件ノ委員會ノ經過、並ニ委員會ノ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ憲法第六十四條ノ二項ニ依テ提出致サレマシタ案デアリマシテ、即チ豫備金ノ支出、及豫備金外超過支出ノ事後承諾ヲ受ケルト云フ案デアリマ

ス、本案ノ數字ハ、既ニ諸君ノ御手許ニ明細書ガ配付サレテアリマスカラ、茲ニ之ヲ省略シマス、委員會ニ於キマシテハ、政府委員ト委員諸君トノ間ニ、幾多ノ問答ガアリマシタガ、其主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、憲政會ノ野田君ヨリ、外米管理及米穀管理令ニ就キマシテ、政府ハ多大ナル損失ヲ被テ居ル、殊ニ罪人マデモ出シタ案デアルカラシテ、失敗ト認メズヤト云フ質問ガアリマシタ、政府ハ之ニ對シテ然ラズ、即チ此案ノ爲メニ米穀ノ不足ヲ補ヒ、並ニ米價ノ暴騰ヲ抑制シタト云フノハ、詰マリ此案ノ效果デアアル、非常ナ成功致

シタモノデアルト云フ政府ノ答辯デアリマシタ、而シテ討論ニ移リマシテ、憲政會ノ野田君ヨリ、本案ハ大正七年度ノ案デアリ決算デアリマシテ、詰マリ現内閣ノ責任ガ薄イカラ、今回ニ限リテ認メル、併シハ政府ノ政策ヲ是認シテ認メルノデナイ、此點ヲ保留シテ置クト云フ御意味ニ於テ御贊成ニナリマシタ、委員會ニ於キマシテハ、滿場一致ヲ以テ、此案ニ承諾ヲ與フベシト云フコトニ可決ニナリマシタ、諸君ニ於キマシテモ、何卒御贊成アラント希望致シマス、少數ノ保留案ニ就テハ、野田君ヨリ此贊成ノ理由ニ就テ一言申上ゲルサウデアリマス、野田君ヨリ御聽取アルコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 本案ニ就テハ發言ノ通告ガアリマスカラ、之ヲ許可致シマス——野田文一郎君

○野田文一郎君 極メテ簡單デアリマスカラ議席ヨリ申上ケマス、寺内内閣ノ時代ニ於キマス米ノ政策ニ就テハ、極端ナル干涉政策ヲ執ツテ、デゴザイマスガ、併ナガラ結局失敗ニ歸シタト云フコトハ、掩フベカラザル事實デアリマス、ケレドモ併ナガラ當時外米管理令ヲ發布シテ、外國米ノ輸入ニ努力致シタト云フコトハ、是ハ寧ロ當時ニ於キマシテハ、機宜ノ處置デゴザイマスケレドモ、唯ダ購入ノ時機ニ就キマシテ之ヲ誤ツタ、其效果ノ薄弱デアリタト云フコトハ、洵ニ遺憾ニ存ジマス、又穀物收用令ヲ發布シテ、内地米ノ價格ヲ制限致シテ、生産者ヨリ需要ニ向テ之ヲ輸送致シマシタケレドモ、其效果モ亦政府ノ豫想ニ外レマシテ、甚ダ不成功ニ終ツタデアリマス、ケレドモ、併ナガラ是等ハ何レモ當時米ノ問題ニ就テ、天下ノ人心恟々タル場合ニ於テ、應急ノ處置トシテ致シタノデゴザイマスカラ、其效果ハ薄弱デアリマシテモ、寧ロ諒トスベキ點モゴザイマスシ、ノミナラズ寺内内閣ハ之ガ爲ニ責ヲ引イテ内閣ハ瓦解シタ事柄デアリマスカラ、今日ニ於テ吾々ハ此以上之ヲ追窮スルコトハ穩當ナラズト認メ、斯様ナル意味ニ於テ、農商務省所管外米補給並ニ内米ノ管理補給等ニ關スル事項ニ關シテ、將來ヲ戒メテ承諾ヲ與ヘマシタ、此機會ニ於テ此意味ヲ聲明致シテ置キマス

○岩崎勳君 本案ハ委員長報告ノ通り、承諾ヲ與ヘラレシコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、本案ハ承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ、次ノ日程第二十四ハ提出

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、本案ハ承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ、次ノ日程第二十四ハ提出

者ヨリ延期ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ
○副議長(粕谷義三君) 次ハ日程第二十五 信越東線鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、提出者丸山嵯峨一郎君

者ヨリ延期ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ
○副議長(粕谷義三君) 次ハ日程第二十五 信越東線鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、提出者丸山嵯峨一郎君

第二十五 信越東線鐵道速成ニ關スル建議案(丸山嵯峨一郎君外一名提出)

信越東線鐵道速成ニ關スル建議案

信越東線鐵道ハ新潟縣下川口村ヨリ長野縣下長野市若ハ條ノ井驛ニ達スル信越河東線ノ改稱ニシテ其ノ建議ハ已ニ數回本院ヲ通過シタル重要ナル線路ナリ尙近キ將來ニ於テ十日町線ト稱スル國有輕便鐵道ニ依リ若ハ飯山線ト稱スル私設輕便鐵道ニ依リテ僅ニ地方ノ便利ヲ濟スモノアリトスルモノアルモ交通政策上斯ル斷片の線路ハ最不經濟ニシテ資本ヲ固定シ十分ナル效果ヲ收ムルコト能ハス加之沿線ニハ信越及信濃川ナル二大發電事業ノ計畫アリテ其ノ鐵道敷設ノ利ヲ期待スルモノ甚ダ急切ナリ若夫レ他日本鐵道ヲシテ中央西線ニ連系スルコトヲ得セシメハ其ノ效用ハ實ニ測ルヘカラサルモノアラトス故ニ政府ハ速ニ本鐵道完成ノ計畫ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

○丸山嵯峨一郎君 登壇、拍手起ル

○丸山嵯峨一郎君 本案ハ信越東線鐵道速成ニ關スル建議デアリマシテ、是ハ新潟縣下川口村ヨリ長野縣井驛ニ達スル、信越河東線ト申シマシタ此線路ノ改名デアリマス、此建議ハ屢、本院ヲ通過シタ所ノ經歷ガアルノデ、別段更メテ申スマデノ事モアリマセヌガ、近キ將來ニ於テ、川口ヨリ七八里延長致シマシテ、十日町線ト云フモノガ國有輕便鐵道ト出來ルコトニナテ居ル、尙ホ長野縣下ニ於キマシテハ、私設ノ輕便鐵道飯山線ト稱スルモノガ、今年末ニ於テ出來ル筈ニナテ居リマス、斯様ニナテ居リマスルガ、併ナガラ此斷片の線路ハ、或程度ノ資本ヲ固定セシメテ十分ノ效果ヲ收ムルコトノ出來ナイト云フコトハ、諸君ニ於キマシテモ萬々御承知ノ事デアリマスカラ、是非共之ヲ貫通シテ、相當ノ效力ヲ收メルヤウニシタイト云フ希望デアリマス、尙ホ此沿線ニ於テハ、信越水電ノ事業、及信濃川水電ノ事業等ノ大事業ガ目論マレテ居リマスノデ、此事業ハ矢張此鐵道ノ便利ヲ俟タナケレバ、事業モ、之ヲ促進スルコトハ甚ダ困難デアアル、尙又此信濃川水電ハ、鐵道ノ動力ニ

専ら用キルコトニナテ居リマス爲メニ、何レニシテモ此信越東線鐵道ヲ成ルベク早く完成シナト、此水電事業ニモ影響ノアルヤウナ次第アリマスカラ、是非共此鐵道ノ速ニ完成セラル、ヤウニ希望スル次第アリマス、此鐵道ガ若シ出來タナラバ、所謂此鐵道線トモ申シマセウカ、東海線又信越線、及上越線、是等ノ線ヲ横ニ貫通致シマシテ、一直線ニ名古屋マデ達スルコトノ出來ル所ノ、鐵道網ノ上、重要ナル横斷線トモ申スベキ所ノモノデ、其效用ト申スモノハ、實ニ莫大ナモノデアルノデ、一日モ早く之ヲ完成シタイト云フ希望ヲ以テ、此建議案ヲ提出シテ次第アリマスカラ、是非トモ御賛成ヲ願ヒタイノデアリマス

○岩崎勳君 本案ハ日程第十四ノ遠信鐵道成ニ關スル建議案、北井波治目君提出ノ案ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナイモノト認メマス、動議ノ如ク決定致シマス、次ハ日程第二十六議院建築ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者ノ説明ヲ求メマス、星島二郎君

第二十六 議院建築ニ關スル建議案(星島二郎君提出)

議院建築ニ關スル建議案
議院ノ設備如何ハ立憲政治ノ運用ニ至大ナル影響アリ現議院ノ缺陷ニ鑑ミ新議院建築ニ關シ左記ノ設備並委員ヲ設ケムコトヲ望ム

- 一 貴衆兩院ノ間ニ開院式用ホールヲ設ケルコト
- 二 政府所有ノ圖書ヲ整理統一シ國會圖書館ヲ完成スルコト
- 三 貴衆兩院議員中ヨリ各五名ノ建築評議委員ヲ任命スルコト

右建議ス

〔星島二郎君登壇、拍手起ル〕

○星島二郎君 私ノ建議致シマシタル要素ハ約三ツデアリマス、一ツハ貴衆兩院ノ間ニ新シク新築サルベキ議院ニ、中央ニホールヲ設ケマシテ、其「ホール」ヲ開院式用ニ使フ、是ガ一ツ、第二ハ今少シク此議院ノ圖書館ヲ完成セシメタイ、第三ハ此度建設サルベキ議院ノ建築ニ、兩院議員ヨリ成ル評議員ヲ設ケタイ、此三ツデアリマス、今簡單ニ提

案ノ説明ヲ致シタイト思ヒマス、凡ソ國民ノ宗教的信仰ノ發露ハ、所謂大伽藍トナテ現ル、ノデアリマス、政治的ノ理想ハ即チ議院ノ建築ニ繫テ來ルノデアリマス、各國共議院ノ建築ニ就キマシテハ、特ニ留意致シマシテ、ソレノ其國民ノ理想——政治思想ヲ發現スルニ努メテ居ルノデアリマ

ス乃チ日本ニ於テモ、最早十九年以來明治十九年ト覺エマスガ、度々議院建築ニ關スル、調査會ガ設ケラレ、或ハ委員ガ設ケラレ、或ハ時ニハ千數百萬圓ノ豫算ヲ以テ、建築ニ掛ルト云フ所マデ行テ居タノデアリマス、ソレガ轉轍致シマシテ、現在七百五十萬圓ノ豫算ヲ以テ既ニ議院ノ建築ハ懸賞ヲ募集サレ、現在永田町ニ既ニ其建築ニ取掛テ居ルノデアリマス、私ハ此提案ノ少シク時機ノ後レタコトヲ、甚ダ遺憾ニ思フノデアリマスケレドモ、併ナガラマダ現在ノ設計ノ内部ヲ變更シマシテモ、稍、私ノ理想トスル一部分デモ之ヲ實現シ得ルコト信ジマスガ故ニ、此案ヲ出シタノデアリマス、議院法ニ依リマス、開院式ハ貴族院ニ於テ行ハレルト云フコトニナテ居リマス、是ハ如何ナル先例ニ依ルカ、英國アタリノ其儘真似タト思ヒマスガ、元來議會ハ衆議院ヲ精神ニ於テ重シクセラレテ居ルノデアリマス(拍手起ル)殊ニ豫算ノ先議權ヲ附與サレテ居ルノハ其爲デアリマス、開院式ヲ何處デ行ハウガ、大シタ事デナイト言ハバンレダケノモノデアリマスケレドモ、凡ソ此最モ重要ナル此形式壯嚴ナルベキ所ノ開院式ニ、今日ノ如ク貴族院ノ議席ヲ取外シテ之ヲ借り用井ルト云フコトハ、甚ダ面白クナイ、若シ態々新築スルナラバ、何故貴衆兩院ノ間ニ一大「ホール」ヲ設ケマシテ、之ヲ開院式用ニ使ハナカッタカ、私ハ出來マスルナラバ、豫算ヲヤリ替ヘテ、設計ヲヤリ替ヘテ、堂々タル中央ニ「ホール」ヲ造テ貴ヒタイト思ヒマスケレドモ、最早既ニ實行ニ掛テ居ル、之ヲヤリ直セバ時日モ少シク遅レマスルシ、大變ナ事デアリマスカラ、内部ノ設計ヲセメテ少シクモ變更シテ、サウシテ貴衆兩院ノ間ニ一ツノ「ホール」ヲ造テ貴ヒタイ、而シテ其「ホール」ハ、平素ニ於キマシテハ國民的或ハ國際的ノ會場 用キル、例ヘバ先般ノ如ク尼港ノ犧牲者ノ追悼式ヲ行ハレタ、ア、云フ場合ニ於キマシテハ、此「ホール」ヲ使ヒマスレバ、最モ適當ト信ズルモノデアリマス、或ハ此度米國ノ議員ガ大勢ヤテ來ル、斯ウ云フ人ヲ此議院ニ於テ歡迎スルト云フコトニナリマスレバ、國際上極メテ意義アルコトデアリマス、此後ニ於キマシテ、度々國際的或ハ國民的集會ハ催サレルト思ヒマスガ、サウ云フ際ニ於キマシテ、此中央「ホール」ヲ用キマスルナラバ、極メテ適當デアリ、而シテ國民ト議會トヲ接近スル、唯一ノ最モ良イ機關デアルト思ヒマスルガ故ニ、私ハ少シ位現在ノ設計ノ手間ヲ取リマシテモ、——此度ノ渡邊福三君ノ所謂募集案ヲ見マス、マダ確ニ内

部ノ設計ハ替ヘ得ル餘地ガアルノデアリマスカラ、七百五十萬圓ノ豫算ノ範圍ニ於キマシテ、モ充分之ヲ爲シ得ラレルノデアリマスカラ、此國家的、殊ニ議院ニ取テモ最重要ナル此案ニ就キマシテ、第一項ハ是非御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス、第二項ハ今日アリマスルスルヤウナ議院ノ圖書館ハ、極メテ御粗末デアルセメテ新シク造ラレル所ノ議院ノ圖書館ハ、今少シク完全ニシタイ、是モ欲テ言ヘバ豫算ヲヤリ直シテ、モト立派ナル所ノ、千萬圓掛ラウガ二千萬圓掛ラウガ、今日日本ノ色ニ豫算ヲ見マスルトモトトソレレドモ、是モ是ハ用キルニ足ルベキ充分ノ言草ハアリマスケレドモ、是モ時間ヲ急ギマスルガ故ニ、今日現在行ハレツ、アル所ノ豫算ノ範圍ニ於キマシテモ、議會ノ圖書館ヲモト良クスルコトガ出來ルノデアリマス、私ノ意味ハ現在アリマスル所ノ内閣ノ圖書ヤ、或ハ内務省ニ保管サレテ居ル所ノ、幾多ノ圖書ガ、唯ダ煉瓦ノ倉ノ中ニ入ッテ喰テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ最モ吾々議員ニ取リ、政黨員ニ取リマシテ好參考ニナル所ノ圖書ヲ議會ニ集メマシテ、所謂「コングレッズライブラリー」見タヤウナモノヲ造リマシタナラバ、オ五ニ取テ最モ便宜デアラウト思ヒマス、御承知ノ如ク亞米利加ノ「コングレッズライブラリー」ノ如キ、實ニ幾千萬ノ金ヲ投ジテ、其設備ニ於キマシテモ、或ハ圖書館ヨリ直チニ地下鐵道ニ通ズルトカ有ユル便宜ヲ用キテ、總テノ政治問題ニ關スル智識ハ、其場所ニ於テ智識ヲ得ルコトガ出來ル、斯ウ云フコトヲ望ミタイノデアリマスケレドモ、ソレハ仕方ガナイ、セメテモ現在政府ニ所有シテ居テ、サウシテ吾々議員ニ取リ、政黨員ニ取リマシテ、勉強研究ノ資料ニナリ得ルヤウナ圖書ガアリマスレバ、唯ダンレラ倉庫ニ收メズシテ之ヲ議會ニ保管シマシテ、オ五ニ自由ニ見得ル採會ヲ作リマスナラバ、今日ノヤウナ不勉強ナ議員ニ取リマシテハ、最モ好イ參考ニナルダラウト思ヒマス、而シテ平素ニ於キマシテハ、之ヲ公開スレバ、今少シク國民ト議會ガ接近スル手段トモナルノデアリマシテ、私ハ右ノ二件ハ、ドウシテモ、現在ノ豫算ノ範圍内ニ於キマシテモ、出來ラレルト思フノデアリマスカラ、諸君ノ御賛成ヲ仰ギタイト思フノデアリマス、第三項ノ建築評議員、是ハ既ニ現在ノ議院ノ設計ガ出來ラレル前ニ、兩院議員ノ中ヨリ其委員ガアツノデアリマスカラ、今日ハ唯ダ貴衆兩院ノ書記官長ガ、參與官トシテ居ラル、ノデアリマシテ、内部ノ小サイ設計ニ關シテ、現在議席ヲ有スル所ノ人、ガ、今少シク設計ニ立入ッテ、此場所ハ、シタイ、此場所ハ、斯ウシタイト云フヤウニナリマスレバ、大變便宜ト思フノデアリマス、私ガ一寸感ジタ事ニ就テモ、例ヘバ現在ノ此議席ハ極メテ拙イ、是ハ佛蘭西ヤ獨逸——多分此議席ハ、獨逸人ノ設計者ガ設計シタノデアリマスカラ、多分獨逸流ニナテ居ラウト

思フノデアリマスガ、政府委員席ト議席トガ相向ヒ合フテ、何トカ云ヘバ直グ討論ヲシ合フ、如何ニモ直グ喧嘩腰ニナル、議場ノ設備ハ議員ノ精神ニ非常ニ影響スルノデアリマシテ、若シ是ガ精圓形、若クハU字形ニナツテ、御互ニモト相談シ合フト云フ形式ニナツテ居レバ、日本ノ議場ハ、唯ダ喧々囂々一騒ガシクナイト云フ状態ニナラウト思フノデアリマス、私ハドウシテモ政府委員ハ、其時ノ大政黨ノ前ニ議席ヲ造ル、サウシタナラバ假令質問ヲスルニモ、横ニ向イテ斯ウ云フコトヲヤル必要モナクナル、現在ハ、政友會内閣アル、サウスルト政友會ノ議席ノ前ニハ、現在ノ大臣ノ席ガアルト云フコトニナルト、質問ヲスルニモ、攻撃ヲスルニモ、最モ自然ニナツテ來ル、モト議席ノ造方ニ就テモ、色々ナ議論ガアリマセウ、今日ノ如ク傍聽席ハ極メテ狭イ、斯ウ云フコトニ就テモ、現在ノ議員ガ之ニ評議員トナツテ、個々ノ設計ニ就テ、注文ヲ致シマシタリ相談ヲスルト云フコトハ、最モ必要デアラウト思フノデアリマス、或ハ此換氣設備炭酸瓦斯ハ、研究ニ依リマスト最モ人ノ頭ヲ興奮サセルト云フ、今日ノヤウナ換氣設備ノ不完全ナ議場ニ入ルト、ドウモ一種ノ「スピリット」トナリマスガ、妙ナ感ジニナツテ、騒ガシクナルノデアリマス、斯ウ云フコトニ就テモ、科學的ニ最モ良イ方法ヲ盡シテ、サウシテ新シイ議院ヲ完全ニシタイト思フノデアリマス、私ハ其評議員ト云フモノヲ設ケテ、ソレノ口ヲ通シテ、假令決ツテ居ル設計ニ致シマシテモ、小サイ問題、或ハ豫算委員會ノ席ハドウストカ、議長席ハドウストカ、小サイ問題ニ就テモ、形ヨリ起ル印象ハ甚ダ重大デアリマス、御互ガ紋付ヲ著レバ紋付ヲ著ク心持ナル、浴衣ヲ著レバ浴衣ヲ著ク心持ニナル、御互ガ此一ツノ議場ヲ造ルコトニ依テ、議事ノ進行ニ非常ニ影響ガアル、議院ノ建築ニ依テ國民ノ精神ニ影響ガアル、甚ダ立憲政治ノ運用ニハ重大デアリマスガ、故ニ、是ハ特別ニ所謂御土産案ト區別サレマシテ、皆サンノ御賛成ヲ得タイト思フノデアリマス(拍手)

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ハ無イト認メマス、動議ノ如ク決定致シマス—次ノ日程第二十七ヨリ第三十九マデハ、總テ請願ノ特別報告デアリマス、是ハ例ニ依リマシテ一括シテ議題ト致シマシテ、委員長ノ報告ヲ求メマス、請願委員長清水市太郎君

第二十七 (特別報告第一號) 徵兵事務條例中外國ニ在ル爲徵集延期ノ請願 (委員長報告)

第二十八 (特別報告第二號) 琴似、發塞屯田兵扶助ノ請願 (委員長報告)

第二十九 (特別報告第四號) 戰鬪若ハ公務起因傷病軍人ヲ官立病院ニ於テ國費ヲ以テ診療致入院セシムルノ請願 (委員長報告)

第三十 (特別報告第六號) 滿洲競馬法制定ノ請願 (委員長報告)

第三十一 (特別報告第七號) 在呂周村ニ登記所出張所新設ノ請願 (委員長報告)

第三十二 (特別報告第八號) 興部村市街地ニ區裁判所出張所急設ノ請願 (委員長報告)

第三十三 (特別報告第九號) 小布施村ニ登記所新設ノ請願 (委員長報告)

第三十四 (特別報告第十號) 安下庄町眞宮ニ登記所新設ノ請願 (委員長報告)

第三十五 (特別報告第十三號) 公立學校職員、市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法ニ關スル在職年數計算方改正ノ請願 (委員長報告)

第三十六 (特別報告第十四號) 私立中等學校へ國庫補助金下附ノ請願 (委員長報告)

第三十七 (特別報告第十五號) 北海道利尻郡篤泊漁港修築ノ請願 (委員長報告)

第三十八 (特別報告第十七號) 山陰縱貫鐵道折居停車場設置ノ請願 (委員長報告)

第三十九 (特別報告第十八號) 戰鬪若ハ公務起因傷病軍人無賃乘車ノ請願 (委員長報告)

〔清水市太郎君登壇、拍手〕

○清水市太郎君 諸君、請願委員會第一回ノ御報告ヲ申上ゲマス、請願委員會ハ四分科ニ分ケルノヲ常例ト致スヤウデアリマスガ、短期ノ特別議會ノコトデアリマスカラ、極メテ簡便ニ計ヒタイト思ヒマシテ、二分科ニ分ケマシテ、サウシテ、審査ヲシタノデゴザイマス、御報告ヲ致スニ先タチマシテ、御了承ヲ願ヒタイノハ、此日程第二十七カラ第三十九マデニナツテ居リマス、請願ノ件名、請願ノ氏名、紹介議員ノ氏名等ヲ一々申上ゲルノハ、極メテ煩雜ニナリマスカラ、是等ハ速記録ニ留メルコトニ致シマシテ省略致シマスカラ、左様御了承ヲ願ヒタイ、日程第二十七乃至第三十九ノ十三件ハ、何レモ各派ノ議員諸君十分ニ意見ノ交換諒解ガアリマシテ、或ハ滿場一致、或ハ大多數ヲ以テ、何レモ採擇ニ決シタノデゴザイマスカラ、本院ニ於カレマシテモ、直チニ諸君ノ御採擇ニ依リ、議院法第六十五條ニ依リ、議長ヨリ總理大臣ニ送付セラレ、ヤウニナルコトヲ希望スルノデゴザイマス、終リニ申上ゲマスノハ、請願ノ事件ノ受領ヲ致シマシタ總數ヲ申上ゲマス、是ハ一昨十七日ノ晩マデニ、三百四十四件受領致シマシタ、此中審査終了ヲシテ報告濟ノモノガ百五十五件アリマス、其内ヨリ分ケマシテ採擇ト決シタモノガ七十七件、不採擇ト決シタモノガ二十八件アリマス、差引審査未了ノモノガ尙ホ二百三十九件アルノデゴザイマス、以上御報告申上ゲマス

特別報告第一號 意見書

請願文書表第五號 徵兵事務條例中外國ニ在ル爲徵集延期ノ請願 福島縣耶麻郡豐川村大字一井九百四番地商業手代木平吾呈出(紹介議員八田宗吉君)

右請願ノ要旨ハ日本國民ニシテ在外者ハ徵兵令ニ依リ徵集ヲ延期セラレ歸朝シタル場合ニ在リテモ尙徵兵事務條例施行細則所定ノ届出後三十日以内ニ内地港灣ヲ出發スル者ニ限リ右延期事由ノ繼續ニルモノト看做ス旨規定セラレタルニ結婚ノ爲若ハ事業經營ニ對スル取引交渉ノ爲歸朝スル者ノ多クハ此ノ如キ短時日ニ用務ヲ完了スルコト能ハサルヲ以テ右施行細則ヲ改メ其ノ期間ヲ少クトモ三箇月又ハ九十日ニ定メラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第十七號
意見書

請願文書表第一三號

山陰縱貫鐵道折居停車場設置ノ請願 島根縣那賀郡大麻
村長岡本眞一外九名呈出(紹介議員島田俊雄君)

右請願ノ要旨ハ島根縣那賀郡大麻村大字折居ハ山陰縱貫線
ニ沿ヒ此ノ地運輸交通ノ便未タ成ラズト雖一産業ノ發達大ニ見
ルヘキモノアリテ附近各村貨物聚散ノ地タリ又其ノ背後大麻山
ニ在ル式内神社春秋二季ノ大祭ニハ參詣人ノ數一萬ヲ數フト謂
フ依テ山陰縱貫線敷設工事ト同時ニ此ノ地ニ停車場ヲ設置セラ
レタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決
セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第十八號

意見書

請願文書第四〇號

戰闘若ハ公務起因傷病軍人無賃乘車ノ請願 東京市四谷
區東信濃町二十八番地退役陸軍歩兵中佐田邊元二郎外九
十二名呈出(紹介議員近藤達見君外一名)

右請願ノ要旨ハ傷病軍人ハ物價騰貴ノ爲窮境ニ沈淪シテ不安ノ
生活ヲ送リツツアリ然ルニ政府ハ曩ニ國有汽車無賃乘行ヲ許可
セラレタルコトアリシモ大正三年六月五日陸海軍省告示ヲ以テ
右特典ハ下士ニ限リ准士官以上ニ於テハ廢兵院(入院ノ場合ニ
ノミ之ヲ認メ其ノ他ハ全ク之ヲ裁奪セラレタリ其ノ理由不明ナ
レトモ將校准士官ハ下士以下ノ者ニ比較シ幾分多額ノ恩給ヲ受
ケツツアルモ到底生活ノ安固ヲ保持スルコトヲ得ス依テ(一)
軍人恩給法第九條第一、第二項症ハ附添人共無賃(二)同第三第
四項症ハ當人ノ無賃ト改正シ是等廢兵ノ生活ヲ安固ナラシ
メラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決
セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

○岩崎勳君 日程第二十七乃至三十九ノ請願特別報
告ハ、一括シテ委員長報告ノ通リ採擇セラレンコトヲ望ミ
マス

〔贊成〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリ
マセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナケレバ委員長報告ノ
通り採擇スルコトニ決定致シマス(拍手起ル)是デ本日ノ
議事日程ハ議了致シマシタ、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御
通知申上ゲマス、本日は是ニテ散會
午後四時二十四分散會